

## 2025年5月新聞書評に掲載された本



### ゼンブ、あなたのためだから

夏原 エキジ 著

講談社

結婚披露宴のさなか、異物が混入したシャンパンが原因で、新婦・沙也香が吐血して倒れた。犯人捜しに乗り出す新郎・和臣だが、彼女の親友や母の偽善ぶりが次々と明らかになり、さらに沙也香のどす黒い過去も見え隠れして...

産経新聞 2025/05/04

2025:3./ 287p  
978-4-06-538430-5

¥1,980 [税込]



9 784065 384305



### 美土里倶楽部

村田喜代子 著

中央公論新社

昨日までそばにいた夫は、いったいどこに行ってしまったのだろう。夫を亡くしたばかりの美土里は、彼の忘れ物をきっかけに3人の女たちと知り合い...。「未亡人倶楽部」の1年間を描いた長編。『中央公論』連載を単行本化。

産経新聞 2025/05/04

2025:3./ 241p  
978-4-12-005898-1

¥2,420 [税込]



9 784120 058981



### クライミング・マインド〜山への情熱の歴史〜

ロバート・マクファーレン 著

筑摩書房

山を愛する気持ちはどこから来たのか？なぜ命をかけて山に登らなければならないと思うのか？人びとが山をどのように捉えてきたのかをつぶさに見つめ、登山者の精神史をえがいた山岳ノンフィクション。

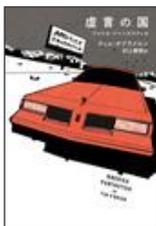
産経新聞 2025/05/04

2025:2./ 368p  
978-4-480-83730-1

¥2,970 [税込]



9 784480 837301



### 虚言の国〜アメリカ・ファンタスティカ〜

ティム・オブライエン 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

ある理由で一流ジャーナリストからフェイクニュースの王に転落した中年男ボイド。カリフォルニアの田舎町でデパートの店長をしている彼は地元銀行の窓口係アンジーに銃を突きつけ、奪った金と彼女を連れ逃避行に出るが...

産経新聞 2025/05/04

2025:2./ 620p  
978-4-596-72564-6

¥3,630 [税込]



9 784596 725646

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2025年5月時点での税込み価格です。



### 見たこともない宇宙

キャロライン ハーパー 著  
柏書房

宇宙望遠鏡「ジェイムズ・ウェッブ」の開発の経緯や、各装置の説明、赤外線からの影響を防ぐ技術などを紹介。さらに、太陽系、恒星、銀河、ブラックホールなどの観測結果、将来へのミッションを観測写真、図とともに解説する。

産経新聞 2025/05/04

2025:4./ 223p  
978-4-7601-5605-4

¥3,850 [税込]



### 植物たちに心はあるのか(SB新書 688)

田中 修 著  
SBクリエイティブ

植物たちは「動きまわりたい」と思っているのか。植物たちが花に込める思いとは。用心深いサクラの心がけとは。植物生理学の専門家が「心」を切り口にして、植物たちの生き方を支える巧みな性質やしぐみに迫る。

産経新聞 2025/05/04

2025:4./ 223p  
978-4-8156-2881-9

¥1,045 [税込]



### 立ち読みの歴史(ハヤカワ新書 043)

小林 昌樹 著  
早川書房

かつて洋行知識人は「海外に立ち読みなし」と証言した。日本特有の習俗「立ち読み」はいつ、どこで生まれ、庶民の読書文化を形作ってきたのか。これまで注目されてこなかった資料を発掘し、その歴史を描き出す。

産経新聞 2025/05/04、日本経済新聞 2025/05/31

2025:4./ 195p  
978-4-15-340043-6

¥1,320 [税込]



### ヒトとヒグマ〜狩猟からクマ送り儀礼まで〜(岩波新書 新赤版 2059)

増田 隆一 著  
岩波書店

北半球に広く分布し、生態系の頂点に立ち、「山の神」と崇められてきた野生動物ヒグマ。ヒトとヒグマが辿った進化上の運命的な出会いの謎に迫り、クマ送り儀礼に見る、人間と自然との豊饒な文化の意味と可能性を問う。

産経新聞 2025/05/11

2025:3./ 220p  
978-4-00-432059-3

¥1,012 [税込]



### 世界のイスラム建築美術大図鑑〜至宝の遺産〜

エリック・ブラウグ 著  
河出書房新社

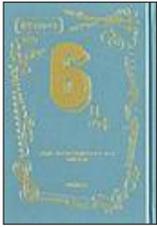
壮麗なモスクやミナレット、優美な幾何学模様。紀元7世紀頃から現代までの主要なイスラム建築美術を美しい写真で紹介。時代順、地域別に建築様式の流れを追いながら、世界遺産も含めて解説する。イスラム王朝一覧等も掲載。

産経新聞 2025/05/11

2025:3./ 335p  
978-4-309-22938-6

¥8,910 [税込]





### 6月の本(12か月の本 6)

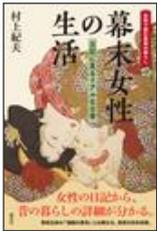
西崎憲 編  
他 19 名 著  
国書刊行会

12か月のうちの<6月>をテーマに古今東西の小説・詩歌・随筆を集めたアンソロジー。谷崎潤一郎「恐怖」、岡本かの子「小町の芍薬」、アルチュール・ランボー/中原中也訳「物語」など全 27 篇を収録する。

産経新聞 2025/05/11

2025:3./ 277p  
978-4-336-07739-4

¥3,080〔税込〕



### 幕末女性の生活～日記に見るリアルな日常～

村上 紀夫 著  
創元社

滝沢馬琴の息子に嫁いだ路など、女性自身が書き残した日記から、幕末の暮らしを読み解く。ご近所との付き合い、飼い猫の一生、妊娠と出産、伝染病への対処、年中行事など細やかで豊かな世界が見えてくる。

産経新聞 2025/05/11

2025:3./ 233p  
978-4-422-20184-9

¥1,980〔税込〕



### 安楽死の医師～自ら「死」を選んだ患者と家族に起きたこと～

ジーン マーモレオ/ジョハンナ シュネラー 著  
大和書房

2016年より安楽死が合法化されたカナダで「死の介助」をしてきた医師は、痛みに苦しむ患者に「死」をもたらすことは救いだと思っていたが。患者、家族、法律...。変わり続ける解釈や制度とどう向き合うべきかを考える。

産経新聞 2025/05/11

2025:1./ 365p  
978-4-479-39443-3

¥2,640〔税込〕



### オール電化・雨月物語

青柳 碧人 著  
P H P 研究所

古典「雨月物語」をベースに近未来の人間の業と怪異と家電(?)を描いた短編集。大企業の経営者・白峯はデジタル遺影を片手に亡き祖母の思い出を語りはじめ...。「シラミネ」など全 9 編を収録。『WEB 文蔵』連載を加筆修正。

産経新聞 2025/05/11

2025:3./ 334p  
978-4-569-85882-1

¥1,980〔税込〕



### あやとり～千種創一歌集～

千種創一 著  
短歌研究社

硝子張りの通路のぼれば関東の夜雲は明るく迫る、僕らに 拷問室の壁には鈍い血の跡のあれが花なら枯れた花びら 2013年から2025年までの作品 265首を収めた歌集。

産経新聞 2025/05/11

2025:4./ 183p  
978-4-86272-798-5

¥2,750〔税込〕





### ユーミンと「14番目の月」～荒井由実と女性シンガー・ソングライターの時代～

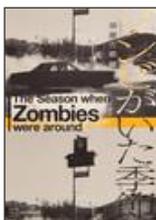
ラッセ・レヘトネン 著  
平凡社

女性シンガー・ソングライターのパイオニア、荒井由実。フィンランドの気鋭の日本音楽研究者が、1976年リリースのユーミン4枚目のアルバム「14番目の月」と、音楽と社会が大きく変化した時代を読み解く。

産経新聞 2025/05/11、朝日新聞 2025/05/17

2025:3./ 246p  
978-4-582-83954-8

¥2,420〔税込〕



### ゾンビがいた季節

須藤 古都離 著  
講談社

1960年代後半、アメリカ西部の小さな町。人気小説家のトムは新作が書けずにいる。やる気のない彼を再起させるため、トムの妻メグは、ゾンビに扮してトムを襲う計画を立てる。そこに噂を聞きつけた映画監督がやってきて...

産経新聞 2025/05/18

2025:4./ 383p  
978-4-06-536800-8

¥2,145〔税込〕



### おいしくってありがとう～味な副音声の本～

平野 紗季子 著  
河出書房新社

あんこ、ビーフジャワカレー、ドラゴンフルーツ、ジャスマンティー...。フードエッセイスト・平野紗季子が、ときに一人で、ときに味なフレンズと、フードについて熱く語る。人気ポッドキャスト&ラジオ番組を書籍化。

産経新聞 2025/05/18

2025:4./ 293p  
978-4-309-03952-7

¥2,310〔税込〕



### たのしい保育園

滝口 悠生 著  
河出書房新社

2歳のもちゃんとお父さんは日々、川べりや公園を歩く。過ぎていく時間と折々の記憶は、いつしか祈りへと昇華していく。ニュートラルに子育てにたずさわる新時代の「父」の物語。『文藝』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

産経新聞 2025/05/18

2025:4./ 215p  
978-4-309-03961-9

¥2,200〔税込〕



### 河内と船場～メディア文化にみる大阪イメージ～

山本 昭宏 編  
ミネルヴァ書房

おもろいまち、がめついひと。高度経済成長期にテレビなどのメディア文化にあらわれた大阪イメージはどのように定着していったのか。ステレオタイプな大阪イメージの起源に迫り、衰退著しいまちの来し方行く末をみつめる。

産経新聞 2025/05/18

2025:3./ 306p  
978-4-623-09784-5

¥3,080〔税込〕





### 砂の器 映画の魔性～監督野村芳太郎と松本清張映画～

樋口 尚文 著  
筑摩書房

公開から半世紀を経た今も人気の映画「砂の器」。松本清張原作を大胆に映像化した脚本・監督・音楽家による仕掛けとは？ 初公開秘蔵資料をもとに秘密に迫る。関係者へのインタビューも収録。

産経新聞 2025/05/18、読売新聞 2025/05/18

2025:3./ 381p  
978-4-480-87417-7

¥2,750〔税込〕



### 作家とおやつ

平凡社編集部 編  
平凡社

毎日の気どらないおやつ、通り慣れた名店の逸品、幼いころ大好きだった忘れられないお菓子…。文豪や現代の人気作家、料理家、漫画家らによるエッセイ、詩、漫画、写真資料など 59 篇を収録。

産経新聞 2025/05/18、読売新聞 2025/05/18

2025:4./ 276p  
978-4-582-74716-4

¥2,200〔税込〕



### 習近平研究～支配体制と指導者の実像～

鈴木 隆 著  
東京大学出版会

長期政権を築いた習近平とは、どのような人物なのか。彼が最高実力者となった軌跡を豊富な資料から渉猟し、中国共産党の支配、中国政治の本質に迫る。これまでに発表した学術論文や雑誌掲載記事などをまとめて書籍化。

産経新聞 2025/05/25

2025:1./ 656p  
978-4-13-030194-7

¥7,700〔税込〕



### いとしまもの～森、山小屋、暮らしの道具～(文春文庫 お83-1)

小川 糸 著  
文藝春秋

コロナ禍での離別を経験し、都会での生活を離れ、森へと移住。大好きな器やアートに囲まれ、自然との対話を楽しむ日々を綴った、カラーフォト満載のエッセイ集。『旅行読売』など掲載に撮りおろし写真を加え文庫化。

産経新聞 2025/05/25

2025:5./ 222p  
978-4-16-792367-9

¥869〔税込〕



### 海底の覇権争奪～知られざる海底ケーブルの地政学～

土屋 大洋 著  
日経BP社

電信と大英帝国、インターネットと米国…。国際政治の覇権国は、電気通信ネットワークの発達に深く関与してきた。その最重要インフラである海底ケーブルの軌跡と役割を、地政学の観点から解明する。

産経新聞 2025/05/25

2025:4./ 282p  
978-4-296-12415-2

¥2,860〔税込〕





### 列島の日本美術史～知られざる美の交錯～

古田 亮 編  
ミネルヴァ書房

雲谷等顔、亜欧堂田善など、日本文化の中心地から離れた土地で活躍した画家たちの軌跡を、各地域の最新の展覧会や図録をもとに辿り、今まで見えなかった新しい日本美術の形を提示する。作品も多数紹介する。

産経新聞 2025/05/25

2025:3./ 416p  
978-4-623-09783-8

¥4,950〔税込〕



### 情報戦 日本海海戦～勝利のカギは「海底ケーブル」にあった～(光人社 NF 文庫 い 1403)

伊藤和雄 著  
潮書房光人社

120年前の日本海海戦は、日本が世界で初めて情報・通信網を駆使して戦った先進的  
海戦だった。その勝利を生んだ先端技術の秘密を解説する。気象予報の戦いを描く  
「五月二十七日の天気図」も収録。

産経新聞 2025/05/25

2025:4./ 242p  
978-4-7698-3403-8

¥980〔税込〕



### 戦艦大和の歴史社会学～軍事技術と日本の自画像～

塚原 真梨佳 著  
新曜社

敗戦の象徴である戦艦大和が、戦後日本の礎として言祝がれたのはなぜか。軍事技術  
開発がいかにしてナショナリズムを喚起し、日本国家のアイデンティティに結びつけ  
られていったかを検討する。

産経新聞 2025/05/25

2025:2./ 288p  
978-4-7885-1870-4

¥3,520〔税込〕



### 佐々淳行・「テロ」と戦った男～戦後80年・日本の危機管理はどう形成されたか～

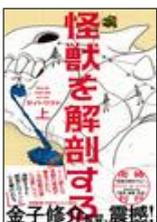
伊藤隆 著  
ビジネス社

第二次反安保闘争、東大安田講堂事件、あさま山荘事件など、戦後史に残る大きな事  
件が続発した騒乱期、主として警備畑を歩んだ佐々淳行は現場の指揮官として大きな  
足跡を残した。インタビューや記録をもとにその生涯に迫る。

産経新聞 2025/05/25

2025:4./ 339p  
978-4-8284-2715-7

¥2,530〔税込〕



### 怪獣を解剖する<上>(BEAM COMIX)

サイトウ マド 著  
KADOKAWA

超厚【232 p】で描かれる、空想研究エンターテインメント!また、三宅乱丈さんメグ  
マイルランドさんからのスペシャル寄稿も掲載!

朝日新聞 2025/05/03

2025:4./ 230p  
978-4-04-738421-7

¥924〔税込〕





### 怪獣を解剖する<下>(BEAM COMIX)

サイトウ マド 著

KADOKAWA

超厚【240p】で描かれる、空想研究エンターテインメント!

朝日新聞 2025/05/03

2025:4./ 231p  
978-4-04-738422-4

¥924〔税込〕



9 7 8 4 0 4 7 3 8 4 2 2 4



### 火怨〜北の耀星アテルイ〜<上>(講談社文庫)

高橋 克彦 著

講談社

吉川英治文学賞を受賞した、傑作歴史長編! 8世紀、黄金を求めて押し寄せる朝廷の大軍を相手に、蝦夷の若きリーダー・阿弖流為は遊撃戦を展開した。古代の英雄の生涯を空前のスケールで描く歴史冒険巨編。

朝日新聞 2025/05/03

2002:10./ 494p  
978-4-06-273528-5

¥968〔税込〕



9 7 8 4 0 6 2 7 3 5 2 8 5



### 火怨〜北の耀星アテルイ〜<下>(講談社文庫)

高橋 克彦 著

講談社

蝦夷を救った古の勇者阿弖流為の壮絶な生涯朝廷の大軍を退けた蝦夷たちの前に、宿敵・坂上田村麻呂が立ちふさがる。「都と対等の国家」建設の夢のため阿弖流為は命を捨てる覚悟をする。著者渾身の長編小説

朝日新聞 2025/05/03

2002:10./ 555p  
978-4-06-273529-2

¥1,056〔税込〕



9 7 8 4 0 6 2 7 3 5 2 9 2



### 銀河鉄道の父(講談社文庫 か 126-2)

門井 慶喜 著

講談社

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。

朝日新聞 2025/05/03

2020:4./ 520p  
978-4-06-518381-6

¥1,012〔税込〕



9 7 8 4 0 6 5 1 8 3 8 1 6



### 養生する言葉

岩川 ありさ 著

講談社

大江健三郎、ハン・ガン、津村記久子、文月悠光、「ブルーロック」「君と宇宙を歩くために」...。文学研究者が出会った、人生に寄り添ってくれる「言葉」と「物語」。『群像』連載に加筆修正。

朝日新聞 2025/05/03

2025:2./ 250p  
978-4-06-538445-9

¥1,760〔税込〕



9 7 8 4 0 6 5 3 8 4 4 5 9



**ユタとふしぎな仲間たち 改版(新潮文庫 み-6-7)**

三浦 哲郎 著  
新潮社

東京育ちの少年・勇太は、父を事故で亡くし、母に連れられ東北の山あいにある湯ノ花村に移ってきた。ひよんなことから座敷わらしたちと出会った勇太は、彼らとの交友のなかで、いつしかたくましい少年へと成長していく。

朝日新聞 2025/05/03

2012:8./ 222p  
978-4-10-113507-6

¥572〔税込〕



**吉里吉里人<上巻>(新潮文庫)**

井上 ひさし 著  
新潮社

朝日新聞 2025/05/03

1985:9./ 501p  
978-4-10-116816-6

¥935〔税込〕



**吉里吉里人<中巻>(新潮文庫)**

井上 ひさし 著  
新潮社

朝日新聞 2025/05/03

1985:9./ 502p  
978-4-10-116817-3

¥990〔税込〕



**吉里吉里人<下巻>(新潮文庫)**

井上 ひさし 著  
新潮社

朝日新聞 2025/05/03

1985:9./ 520p  
978-4-10-116818-0

¥990〔税込〕



**ブロッコリー・レボリューション(新潮文庫 お-76-2)**

岡田 利規 著  
新潮社

ひと、もの、場所を超越して「ぼく」が語る「きみ」のバンコク逃避行。第35回三島由紀夫賞を受賞した表題作、「楽観的な方のケース」など全5編を収録。この複雑な世界をシンプルに生きる人々を描いた短編集。

朝日新聞 2025/05/03

2025:2./ 261p  
978-4-10-129672-2

¥649〔税込〕



**河を渡って木立の中へ(新潮文庫 へ-2-16)**

アーネスト・ヘミングウェイ 著  
新潮社

第二次大戦後数年を経たヴェネツィア。アメリカ陸軍大佐キャントウェルは、貴族の娘レナータに戦争の真実を語り…。歳の離れた愛しい人、戦争の不条理、迫りくる終焉のとき。著者自身を投影して描いた、愛と死の物語。

朝日新聞 2025/05/03

2025:4./ 490p  
978-4-10-210020-2

¥1,045〔税込〕





### 裸足でかけてくおかしな妻さん

吉川 トリコ 著  
新潮社

妊娠中の楓は、子どもの父親である作家“先生”の岐阜の実家に引っ越してきた。出産後の育児を案じた先生が、先生の妻・野ゆりと3人で暮らそうと企てた、同居生活の行き先は-。『小説新潮』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2025/05/03

2025:3./ 343p  
978-4-10-472504-5  
¥2,255〔税込〕



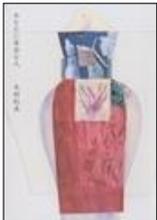
### 影裏(文春文庫 ぬ 3-1)

沼田 真佑 著  
文藝春秋

会社の出向で移り住んだ岩手で、ただひとり心を許した同僚の日浅。いつしか疎遠になった男のもう一つの顔に、「3.11」以後、触れることになるのだが…。表題作に、単行本未収録の「廃屋の眺め」「陶片」を併録。

朝日新聞 2025/05/03

2019:9./ 169p  
978-4-16-791347-2  
¥605〔税込〕



### あなたに安全な人

木村 紅美 著  
河出書房新社

教え子をいじめ自殺に追いやってしまったかもしれない元教師の女と、デモの警備中に参加者を事故で死なせてしまったかもしれない男。ふたりは「感染者第一号」となることを誰もが恐れる地で出会い…。『文藝』掲載を書籍化。

朝日新聞 2025/05/03

2021:10./ 149p  
978-4-309-02997-9  
¥1,837〔税込〕



### おらおらでひとりいぐも(河出文庫 わ 7-1)

若竹 千佐子 著  
河出書房新社

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは-。

朝日新聞 2025/05/03

2020:6./ 191p  
978-4-309-41754-7  
¥693〔税込〕



### 傷を愛せるか 増補新版(ちくま文庫 み 37-1)

宮地 尚子 著  
筑摩書房

傷がそこにあることを認め、受け入れ、傷のまわりをそとなぞる。心は震えつづける。それでも、人は生きていく-。旅先で、臨床現場で、心の波打ち際にたたずむ。トラウマと向き合う精神科医のエッセイ集。

朝日新聞 2025/05/03

2022:9./ 248p  
978-4-480-43816-4  
¥792〔税込〕





**詩の構造についての覚え書～ぼくの《詩作品入門》～(ちくま学芸文庫 イ64-1)**

入沢 康夫 著  
筑摩書房

「詩は表現ではない」では、詩とはいったい何か。作者と発話者の区別など、詩作品成立の根本問題を論じ、反響を呼んだ長篇評論。野村喜和夫の解説を付す。

朝日新聞 2025/05/03

2025:3./ 206p  
978-4-480-51292-5

¥1,210〔税込〕



**北高まちおこし部はまちおこさない<1>**

出倉ナオ 著  
扶桑社

北海道の学園ものといえば、獣医学部(昭和)、農業高校(平成)。令和は“まちおこし部”だ!望んでいないのに学園コメディー直線! 2024年1月pixiv月例賞大賞受賞作品。

朝日新聞 2025/05/03

2025:3./ 232p  
978-4-594-09873-5

¥990〔税込〕



**ふたたび歩き出すとき 東京の台所**

大平一枝 著  
毎日新聞出版

東京で暮らす市井の人の台所を訪ね歩く。<生活の楽屋>から見える人生のよろこびと哀しみ。躓き、くじけながらも懸命に生きる人びとを描くノンフィクション。

『&w』連載に加筆修正。

朝日新聞 2025/05/03

2025:2./ 228p  
978-4-620-32823-2

¥1,870〔税込〕



**佐野洋子全童話**

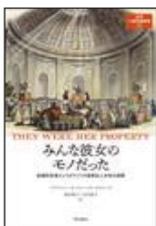
刈谷政則 編  
佐野洋子 著  
理論社

佐野洋子の作品の中から、子どもから読める創作童話を選び網羅的に収録。「金色の赤ちゃん」「やせた子豚の一日」「100万回生きたねこ」など、長篇・中篇・掌篇、絵本のテキストを掲載する。

朝日新聞 2025/05/03

2025:3./ 701p  
978-4-652-20663-8

¥3,960〔税込〕



**みんな彼女のモノだった～奴隷所有者としてのアメリカ南部白人女性の実態～(世界人権問題叢書 121)**

ステファニー・E・ジョーンズ=ロジャーズ/落合 明子 著  
明石書店

奴隷制の商取引において、受動的な傍観者でしかなかったとされていた白人の既婚女性。多くの資料を渉猟し、幼少時から自分の奴隷を所有していた白人女性が奴隷制度の維持・発展に寄与していたことを明らかにする。

朝日新聞 2025/05/03

2025:2./ 437p  
978-4-7503-5882-6

¥4,950〔税込〕





### 立岩真也を読む

稲葉振一郎／小泉義之／岸政彦 著  
青土社

障害学/生存学と向き合いつづけた孤高の天才・立岩真也。その著作「私的所有論」を読み解くことからはじめ、3人の思想家が不世出の社会学者の核心に迫る。2024年2月開催の追悼イベントを書籍化。

朝日新聞 2025/05/03

2025:3./ 162p  
978-4-7917-7707-5

¥2,420〔税込〕



### 鷹野隆大カスババ〜この日常を生きのびるために〜

東京都写真美術館 編  
水声社

鷹野隆大の作品集。美しいものだけではない現実を受け入れ、弱いものもみにくいものそのまま、むき出しのイメージを見る者へ提示する。ヌード写真あり。東京都写真美術館他で開催の展覧会の図録。

朝日新聞 2025/05/03

2025:4./ 358p  
978-4-8010-0838-0

¥3,960〔税込〕



### 大きな森の小さな家〜インガルス一家の物語 1〜(福音館文庫)

ローラ・インガルス・ワイルダー 著  
福音館書店

ウィスコンシン州の「大きな森」の丸太小屋に、ローラと、とうさん、かあさん、姉のメアリー、妹のキャリーが住んでいます。物語は冬がくる前の食料作りから始まり、1年間の森での生活がローラの目を通して描かれます。再刊。

朝日新聞 2025/05/03

2002:6./ 256p  
978-4-8340-1808-0

¥660〔税込〕



### 占領下の学生自治会と学生運動

田中 智子 著  
六花出版

学生自治会成立にいたる経緯と学生自治会の初期の活動を、戦前期の学生自治の系譜、戦後の政府・占領軍の民主化政策、左翼学生団体の復活など、諸要素に言及しながら明らかにする。ジャケットそでにテキストデータ引換券付き。

朝日新聞 2025/05/03

2025:1./ 263p  
978-4-86617-264-4

¥4,950〔税込〕



### イカ天とバンドブーム論〜人間椅子から『けいおん!』『ぼっち・ざ・ろっく!』まで〜

土佐 有明 著  
DU BOOKS

1989年2月11日～1990年12月29日に放送されたテレビ番組「平成名物TV いかすバンド天国(イカ天)」の功績を改めて検証し、同番組が加速させたバンドブームの内奥に迫る。イカ天厳選ディスクガイドも収録。

朝日新聞 2025/05/03

2025:3./ 320p  
978-4-86647-238-6

¥2,530〔税込〕





### 鳥の心臓の夏

ヴィクトリア・ロイド＝バーロウ 著

朝日新聞出版

自閉スペクトラム症のサンデーと、娘のドリー。その隣にロンドンから引っ越してきた女性ヴィータの自由な生き方に、サンデーは惹かれるが…。自身も当事者である著者が、その感覚世界、家族の揺れ、自己の探索を繊細に描く。

朝日新聞 2025/05/03、日本経済新聞 2025/05/03

2025:3./ 417p  
978-4-02-332397-1

¥3,300 [税込]



### 土と生命の46億年史～土と進化の謎に迫る～(ブルーバックス B-2278)

藤井 一至 著

講談社

現代の科学技術をもってしても作れない「生命」と「土」。生命の誕生から動植物の進化と絶滅、人類の繁栄、文明の栄枯盛衰にまで大きく関わってきた土の進化を、46億年の地球史と生物進化の壮大なストーリーとともに描く。

朝日新聞 2025/05/10

2024:12./ 265p  
978-4-06-537838-0

¥1,320 [税込]



### 愛の人やなせたかし(講談社文庫 こ 97-1)

小手鞠 るい 著

講談社

「アンパンマン」を生み、『詩とメルヘン』編集長として多くの才能を育てた、愛と献身の人、やなせたかし。その人生を数々の名作詩とともに、愛弟子が描く。永田萌による解説、書き下ろし掌編小説も収録。

朝日新聞 2025/05/10

2025:1./ 325p  
978-4-06-538202-8

¥803 [税込]



### 異形のヒグマ～OSO18を創り出したもの～

山森 英輔／有元 優喜 著

講談社

道東を恐怖と混乱に陥れた「牛を襲うヒグマ」の正体とは? 2年にわたりヒグマ「OSO18」の生態を調査し、伝説のハンターたちとともに「OSO18」を追い続けた攻防のドキュメント。NHK番組の取材をもとに書籍化。

朝日新聞 2025/05/10

2025:2./ 253p  
978-4-06-538524-1

¥1,980 [税込]



### やなせたかし先生のしっぽ～やなせ夫妻のとおき話～

越尾 正子 著

小学館

茶道教室の師匠だった、やなせたかしの妻にスカウトされ、やなせたかしのスタジオで働くことになった著者。やなせ夫妻に20年寄り添った秘書が、ふたりの暮らし、生活、仕事に思い出を語る。

朝日新聞 2025/05/10

2025:4./ 239p  
978-4-09-389805-8

¥1,980 [税込]





「黒人」は存在しない。～アイデンティティの釘付けについて～

タニア・ド・モンテーニュ 著  
中央公論新社

あなたのいう「黒人」って何？ アイデンティティ至上主義の問題点を、公民権運動の歴史から消された黒人少女の伝記、そして現代黒人女性のリアルな日常から浮かび上がらせる、ユニークな反レイシズム・エッセイ。

朝日新聞 2025/05/10

2024:12./ 227p  
978-4-12-005862-2

¥2,640〔税込〕



やなせたかしの生涯～アンパンマンとぼく～(文春文庫 か68-3)

梯 久美子 著  
文藝春秋

自分の顔を食べさせる前代未聞のヒーロー「アンパンマン」の作者・やなせたかしは、「手のひらを太陽に」を作詞するなど、詩人としても知られる。生きることを肯定し、光にむかって歩き続けたその生涯を、評伝の名手が綴る。

朝日新聞 2025/05/10

2025:3./ 269p  
978-4-16-792346-4

¥770〔税込〕



朝のピアノ～或る美学者の『愛と生の日記』～

キム・ジニョン／小笠原藤子 著  
CEメディアハウス

日常がシャッターを下ろすように中断されると知った時に、残ったのは「愛」。多方面で活躍した哲学者/美学者である著者が、人生に幕を下ろす3日前までをメモに綴った日記を収録する。

朝日新聞 2025/05/10

2025:3./ 270p  
978-4-484-22127-4

¥2,420〔税込〕



AIを美学する～なぜ人工知能は「不気味」なのか～(平凡社新書 1076)

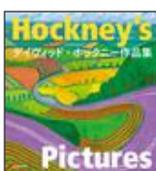
吉岡 洋 著  
平凡社

AIは心躍る楽しい技術？ それとも、違和感や不安を抱かせる存在？ 「不気味さ」「騙されるということ」「身体性」といった視点を手がかりに、AIを美学の問題として考える。

朝日新聞 2025/05/10

2025:2./ 221p  
978-4-582-86076-4

¥1,100〔税込〕



Hockney's Pictures～デイヴィッド・ホックニー作品集～

デイヴィッド・ホックニー 著  
青幻舎

60年以上にわたるホックニーの創造性を目の当たりにできる作品集。油彩や素描、水彩、版画、写真作品の変遷と多様性を紹介するとともに、近年の最新作を取り上げる。

朝日新聞 2025/05/10

2025:2./ 496p  
978-4-86152-971-9

¥4,730〔税込〕





**平家物語の合戦～戦争はどう文学になるのか～(歴史文化ライブラリー 617)**

佐伯 真一 著  
吉川弘文館

源平合戦を描いた文学「平家物語」は、なぜ人々の共感を呼ぶ物語となったのか。多数の異本に目を配りつつ、合戦の歴史的経過をたどり、さまざまな性格を持つ物語を考察。物語に織り込まれた人々の欲求を読み解く。

朝日新聞 2025/05/10、東京・中日新聞 2025/05/25、読売新聞 2025/05/25

2025:3./ 320p  
978-4-642-30617-1  
¥2,310〔税込〕



**可視化される差別～統計分析が解明する移民・エスニックマイノリティに対する差別と排外主義～**

五十嵐 彰 著  
新泉社

差別とは何か？どのように捉えればいいのか？差別を「可視化」し、その実態を明らかにするための研究をもとに、差別の正体とその原因、そして差別が当事者に何をもたらすのかを明らかにする。

朝日新聞 2025/05/10、読売新聞 2025/05/11

2025:2./ 432p  
978-4-7877-2418-2  
¥3,850〔税込〕



**学ぶとは～数学と歴史学の対話～**

伊原 康隆／藤原 辰史 著  
ミシマ社

生涯学びつづける数学者と歴史学者が28通にわたり繰り広げた往復書簡集。あらゆる角度から、徹底的に「学ぶ」を考え抜く。『みんなのミシマガジン』連載を加筆・修正し再構成。後ろから読む巻末付録あり。

朝日新聞 2025/05/10、読売新聞 2025/05/11

2025:4./ 339p  
978-4-911226-18-6  
¥3,850〔税込〕



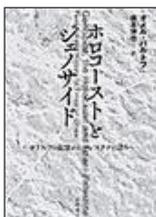
**沖縄戦～なぜ20万人が犠牲になったのか～(集英社新書 1260)**

林 博史 著  
集英社

自国が戦場になるとはどういうことか。米軍と激しい地上戦を繰り広げ、県民の4人に1人が犠牲になった沖縄戦から80年。この悲劇から学び、教訓を未来に生かすために膨大な史料と最新の知見で編み上げた沖縄戦史の決定版。

朝日新聞 2025/05/10、日本経済新聞 2025/05/17

2025:4./ 348p  
978-4-08-721360-7  
¥1,243〔税込〕



**ホロコーストとジェノサイド～ガリツィアの記憶からパレスチナの語りへ～**

オメル・バルトフ 著  
岩波書店

イスラエル生まれのジェノサイド研究の第一人者が、自身のホロコースト研究とガリツィア(西ウクライナ)にルーツのある自分史を重ね、パレスチナの今へと語りつなぐ。イスラエル=パレスチナの共感的理解を希求する論集。

朝日新聞 2025/05/17

2024:11./ 350p  
978-4-00-061671-3  
¥5,720〔税込〕





**あかずめの匣(角川ホラー文庫 た 5-4)**

滝川 さり 著

KADOKAWA

その怪異は人を閉じ込めて殺す。冠村には“窒息の家”と呼ばれる廃墟があり、「あかずめ」という怪異の言い伝えが...。「あかずめ」に関わった4人の物語から、読者が呪いの「条件」を解き明かす、新感覚体験型ホラー。

朝日新聞 2025/05/17

2025:3./ 331p  
978-4-04-115468-7

¥858〔税込〕



**円環(小学館文庫 タ 1-3)**

アルネ・ダール 著

小学館

スウェーデン国内で連続爆破殺人事件が発生。被害者は環境破壊に関係していた。容疑者は、隠遁生活を送る元警部。彼の部下だった国家作戦局の主任警部エヴァ宛てに、彼からと思われる犯行予告の手紙が届き...

朝日新聞 2025/05/17

2025:4./ 569p  
978-4-09-407352-2

¥1,408〔税込〕



**ブラック郵便局**

宮崎 拓朗 著

新潮社

市民のために働いてきた郵便局員たちとその家族が、疲弊しきっている。異常すぎるノルマ、手段を選ばない勧誘、そして政治との癒着...。関係者1000人以上の「叫び」を基に歪んだ巨大組織の実態にせまるノンフィクション。

朝日新聞 2025/05/17

2025:2./ 238p  
978-4-10-356151-4

¥1,760〔税込〕



**裁判官の正体～最高裁の圧力、人事、報酬、言えない本音～(中公新書ラクレ 839)**

井上薫 著

中央公論新社

袴田事件のようなとんでもない冤罪事件が起きるのは、なぜなのか。元判事の著者が、「裁判官の独立」がいかに脅かされやすいのか、そして、裁判官がいかに俗物であるかを明らかにする。

朝日新聞 2025/05/17

2025:3./ 205p  
978-4-12-150839-3

¥990〔税込〕



**覚悟(文春文庫 フ 37-1)**

フェリックス・フランシス 著

文藝春秋

引退して6年。競馬界で最高の調査員として名を馳せたハレーに、レースの不正の調査を依頼してきたスチュアート卿が変死した。卿の遺志を継ぎ、ハレーは卑劣な敵の潜む闇に踏み込む。

朝日新聞 2025/05/17

2025:5./ 470p  
978-4-16-792370-9

¥1,265〔税込〕





### ハイファに戻って(河出文庫 カ3-1)

ガッサーン・カナファーニー 著

河出書房新社

パレスチナ抵抗運動の中心で闘い、自動車爆弾によって夭折した作家がのこした名作群。20年ぶりに再会した親子の中にパレスチナとイスラエルの苦悩を凝縮させた「ハイファに戻って」など7篇を収録。

朝日新聞 2025/05/17

2017:6./ 292p  
978-4-309-46446-6

¥1,078 [税込]



### 遙かなる山に向かって～日系アメリカ人二世たちの第二次世界大戦～

ダニエル・ジェイムズ・ブラウン 著

みすず書房

日米開戦によって日系アメリカ人の日常は一変した。日本各地出身の両親のもとに生まれ、アメリカ市民として育った4人の二世を主人公に、不条理と闘った日系人たちの群像を精緻に描くノンフィクション。

朝日新聞 2025/05/17

2025:2./ 648p  
978-4-622-09647-4

¥5,280 [税込]



### 黒部源流山小屋料理人

やまと けいこ 著

山と溪谷社

北アルプス・黒部源流の山小屋、薬師沢小屋で働くイラストレーター・やまとけいこが、山小屋料理人が抱える苦悩と喜びを、イラストを交えユーモラスに綴る。『山と溪谷』連載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2025/05/17

2025:3./ 159p  
978-4-635-33084-8

¥1,760 [税込]



### とびきりおいしいおうちごはん～小学生からのたのしい料理～

野村友里 著

小学館クリエイティブ

ハンバーグやしょうが焼きなどの基本料理から、だしの取り方や手作りウスターソースまで、卵、肉、野菜、魚の料理を約40レシピ紹介。「食べることは生きること」のメッセージがこめられた、子どもと読める本質的な料理の本。

朝日新聞 2025/05/17

2023:7./ 127p  
978-4-7780-3590-7

¥1,760 [税込]



### ホロコーストとナクバ～歴史とトラウマについての新たな話法～

バシール・バシール 著

水声社

ユダヤ人迫害を背景に建国されたイスラエルと、それゆえに郷土を破壊され奪われたパレスチナ人。ユダヤ・中東史の深層を読み解きながら、政治的・歴史的断断を超えて語るための方法を探求する。

朝日新聞 2025/05/17

2023:2./ 476p  
978-4-8010-0703-1

¥6,600 [税込]





### 僕たちは言葉について何も知らない～孤独、誤解、もどかしさの言語学～

小野純一 著  
ユーザベース

誰もが言葉の持ち主なのに、どうにもうまく使いこなせない。言葉とはいったい何なのか？言葉が原因で感じられる<もどかしさ>、不安や孤独感の正体にせまり、焦燥感、苛立ちとどのように付き合ったらいいのかを考える。

朝日新聞 2025/05/17

2025:4./ 267p  
978-4-910063-40-9

¥1,980〔税込〕



### ポピュリスト・ナポレオン～「見えざる独裁者」の統治戦略～(角川新書 K-484)

藤原 翔太 著  
KADOKAWA

コルシカの議員一族に生まれ、地元の選挙戦と占領地統治で政治力を磨き、「共和国」皇帝へとのおぼりつめ…。気鋭のフランス史家が、「軍事独裁」の象徴であるナポレオン・ボナパルトの「見えざる独裁」のメカニズムを描く。

朝日新聞 2025/05/24

2025:5./ 232p  
978-4-04-082528-1

¥1,034〔税込〕



### ロシア女たちの反体制運動(集英社新書 1259)

高柳 聡子 著  
集英社

ウクライナへの軍事侵攻開始後わずか 25 時間で結成された「フェミニスト反戦レジスタンス」をはじめ、ロシアにおける女たちの反戦・反体制運動は様々な形で存在してきた。公の歴史には刻まれなかった彼女らの闘いを記録する。

朝日新聞 2025/05/24

2025:4./ 251p  
978-4-08-721359-1

¥1,100〔税込〕



### 僕には鳥の言葉がわかる

鈴木 俊貴 著  
小学館

「シジュウカラが 20 以上の単語を組み合わせる文を作っている」ことを世界で初めて解明した研究者が、鳥の言葉を科学的に解明するための実験方法などを、軽快に綴る。シジュウカラの鳴き声が聞ける QR コード付き。

朝日新聞 2025/05/24

2025:1./ 263p  
978-4-09-389184-4

¥1,870〔税込〕



### あなただけの物語のために～どうすれば自分を信頼できる?～(ちくま Q ブックス)

あさの あつこ 著  
筑摩書房

自分の言葉、自分の思考、自分の表現こそが最強の自己防衛になる。世の中にあふれている誰かが描いた紛い物の物語に惑わされないよう、「書いたり」「読んだり」を通して、自分の内にある物語を見つめなおす方法を提案する。

朝日新聞 2025/05/24

2025:1./ 107p  
978-4-480-25159-6

¥1,320〔税込〕





### 誰のために何のために建築をつくるのか

伊東 豊雄 著  
平凡社

自然と共存する現代建築は可能か。人にやさしい現代建築とは何か。そして建築家は誰のために、何のために建築をつくるのか。世界的建築家が現代建築のあり方を自由に思索する。図版も多数収録。

朝日新聞 2025/05/24

2025:4./ 165p  
978-4-582-54481-7

¥2,750〔税込〕



### 海之怪〜海釣り師たちが見た異界〜

高木 道郎 著  
山と溪谷社

長崎県にある男女群島へ釣行したときのこと。満天の星空を見上げながら煙草を吸っていたそのとき、ふと横に誰かの気配を感じ…。海釣り師たちが実際に遭遇・体験した奇談全 51 話を収録する。

朝日新聞 2025/05/24

2023:3./ 237p  
978-4-635-82455-2

¥1,760〔税込〕



### ハンナ・アーレントと共生の<場所>論〜パレスチナ・ユダヤのバイナリズムを再考する〜

二井 彬緒 著  
晃洋書房

アーレントは何を思いパレスチナ人とユダヤ人の共存国家論を論じたのか。「ユダヤ論集」から「エルサレムのアイヒマン」までを分析。シオニズムへの批判から連邦制の理論が紡がれるまでの洞察を読み直す。

朝日新聞 2025/05/24

2025:2./ 248p  
978-4-7710-3898-1

¥6,050〔税込〕



### ブラック・カルチャー〜大西洋を旅する声と音〜(岩波新書 新赤版 2061)

中村 隆之 著  
岩波書店

アメリカ大陸に連行された「裸の移住者」は、いかにしてアフリカの声と音の伝統を再創造し、次世代へ繋いだのか。「アフリカ帰還」を主題に、音楽、文学、アート等を横断的に捉え、ブラック・カルチャーの歴史と現在を旅する。

朝日新聞 2025/05/24、日本経済新聞 2025/05/24

2025:4./ 254p  
978-4-00-432061-6

¥1,056〔税込〕



### 誘拐された西欧、あるいは中欧の悲劇(集英社新書 1261)

ミラン・クンデラ／阿部 賢一 著  
集英社

中欧のチェコに生まれ、20 世紀後半の歴史と文学を「中欧」という視点から体現した作家ミラン・クンデラ。彼が生涯をかけて探求した概念「中欧」と「小民族」を巡る論考を収録する。作家の世界観を理解するための貴重な証言。

朝日新聞 2025/05/24、毎日新聞 2025/05/31

2025:4./ 156p  
978-4-08-721361-4

¥1,045〔税込〕





### わたしハ強ク・歌ウ

山下 澄人 著  
河出書房新社

海へ行くことにしたその時、わたしは自分の旅とママが残した旅の記録を重ねて書くことにした。停留所の謎男、先住民たちの歓待、アンネの日記と火山の町…。異次元の冒険譚が始まる! 『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2025/05/30

2025:3./ 219p  
978-4-309-03934-3

¥2,640〔税込〕



### わたし、わかんない

岩瀬 成子／酒井 駒子 著  
講談社

学校で「わかんないちゃん」と呼ばれている少女・中。「まじめでなくなることが夢」という幼馴染のセンくん。別居をはじめた中の両親。大人達も子ども達も「わかんない」を抱え、それぞれの居るべき場所と答えを探し…。

朝日新聞 2025/05/31

2025:4./ 218p  
978-4-06-538952-2

¥1,540〔税込〕



### ぶたのしっぽ(講談社・文学の扉)

海緒 裕／嶽 まいこ 著  
講談社

大好きな編みぐるみ作りという趣味を「男らしくないから」と隠している中学2年生の豪太郎。だが、「積極的不登校児」で「ヤングケアラー」である篠田と出会い、「ふつうって何だろう」という疑問に変化が生まれ…。

朝日新聞 2025/05/31

2025:4./ 173p  
978-4-06-539172-3

¥1,540〔税込〕



### ゴリラ裁判の日(講談社文庫 す 53-1)

須藤 古都離 著  
講談社

ローズはとても賢く、言葉を理解し人間と「会話」ができるゴリラだ。人間の子供を助けるために、という理由で、夫ゴリラが射殺される。そしてローズは、人間に戦いを挑む。力ではなく、知恵と勇気を武器に。法廷で。

朝日新聞 2025/05/31

2025:5./ 397p  
978-4-06-539247-8

¥891〔税込〕



### ラブカは静かに弓を持つ(集英社文庫 あ 89-3)

安壇 美緒 著  
集英社

少年時代のある事件から心を閉ざしてきた橘は、音楽教室への潜入調査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠を掴むこと。美しき孤独なスパイが最後に手にするのは…。スピンオフ短編を加え文庫化。

朝日新聞 2025/05/31

2025:5./ 339p  
978-4-08-744768-2

¥902〔税込〕





### 暇と退屈の倫理学(新潮文庫 こ-73-1)

國分 功一郎 著

新潮社

ウサギ狩りに行く人は本当は何が欲しいのか？ 暇と退屈の問題を歴史的、哲学的に論じ、ハイデッガーの退屈論などを紹介。それらの知見をもとに、<暇と退屈の倫理学>を構想する。

朝日新聞 2025/05/31

2022:1./ 508p  
978-4-10-103541-3

¥990〔税込〕



### 反共と愛国～保守と共棲する民主社会主義～

藤生明 著

中央公論新社

時に自民党よりもタカ派の政策を打ち出す一方、行革などで存在感を示した民社党。彼らは何をめざし、連合や国民民主党などにいかなる影響を及ぼしているのか。労働運動と右派の奇妙な交錯の奇跡を描き出すノンフィクション。

朝日新聞 2025/05/31

2025:3./ 251p  
978-4-12-005890-5

¥2,420〔税込〕



### 化物園(中公文庫 つ 36-1)

恒川光太郎 著

中央公論新社

公園の雑木林を狩り場に、人間のメダマを狙う<猫>。甘言で家を乗っ取り、金だけさらっていく<狐>…。古今東西、人間の陰に生き、喰らい、時に育てる化物たち。その醜くて愛おしい姿を描いた全7篇のホラーを収録する。

朝日新聞 2025/05/31

2025:5./ 344p  
978-4-12-207654-9

¥990〔税込〕



### それでも人生は美しい(物理学者のいた街 4)

太田浩一 著

東京大学出版会

リーマン、エトヴェシュ、ブランク…。苦悩と挫折を乗り越えて不朽の仕事を残した物理学者たち。歴史、文学、音楽、映画などの話題を織りまぜて、彼らがいきいきと生きていた街角を案内する。貴重な写真も満載。

朝日新聞 2025/05/31

2010:10./ 266p  
978-4-13-063605-6

¥3,080〔税込〕



### 規則より思いやりが大事な場所で～物理学者はいかに世界を見ているか～

カルロ・ロヴェッリ 著

NHK出版

理論物理学者ロヴェッリが、10年以上にわたりイタリアの新聞各紙に発表してきたコラムから、その思考の源泉に迫る作品を厳選。哲学や文学と科学の関係、異文化との交流など、常識を問い直す全52篇を収録。

朝日新聞 2025/05/31

2023:12./ 316p  
978-4-14-081951-7

¥2,200〔税込〕





### ジジイの昭和絵日記

沢野 ひとし 著  
文藝春秋

昭和 19 年生まれの著者は、人生のほぼすべてを戦後と共に生きてきた。それはまるで、奇跡のように平和な時代。いつの時代も人は懸命に生きてきた。共に生き、暮らし、そして風になっていった人々に送る 31 篇の人間賛歌。

朝日新聞 2025/05/31

2025:4./ 294p  
978-4-16-391973-7

¥2,255 [税込]



### きんつき

イッサ・ワタナベ 著  
世界文化社

お茶会を楽しむうさぎと小鳥。しかし突然別れが訪れ、うさぎは喪失の世界に沈んでゆく…。日本伝統工芸の金継ぎになぞらえ、深いやさしさと繊細な表現で、喪失の旅を詩的に案内するサイレント物語。

朝日新聞 2025/05/31

2025:2./ 48p  
978-4-418-24838-4

¥2,420 [税込]



### 物理村の風景～人・物理・巨人・追想をちりばめた宝石箱～

亀淵 迪 著  
日本評論社

坂田昌一に師事し、朝永振一郎に傾倒した物理学者のエッセイ。湯川秀樹、ポーア、ラッセルなど様々な人との邂逅を洒脱なタッチで描き出す。

朝日新聞 2025/05/31

2020:11./ 352p  
978-4-535-78924-1

¥2,970 [税込]



### 日々賭けをする人々～フィリピン闘鶏と数字くじの意味世界～

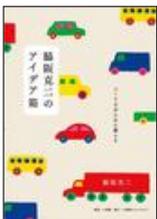
師田 史子 著  
慶應義塾大学出版会

フィリピンにおいて賭博は、社会のあらゆる階層に深く埋め込まれている。フィリピン社会の日常的な賭博実践、とりわけ闘鶏と数字くじに注目し、日々賭け続ける賭博者たちの姿を鮮やかに描き出す。

朝日新聞 2025/05/31

2025:3./ 392p  
978-4-7664-3014-1

¥5,940 [税込]



### 脇阪克二のアイデア箱～つくりながら日々暮らす～

脇阪克二 著  
小学館クリエイティブ

日本人初のマリメッコデザイナー、そしてニューヨークのラーセンでも働き、59 歳で京都に戻り、今は SOU・SOU のデザインをする脇阪克二。80 歳になる著者の生き方のヒントになる言葉と、たのしい作品を紹介する。

朝日新聞 2025/05/31

2025:4./ 191p  
978-4-7780-3889-2

¥2,750 [税込]





### これからの社会を考えるための科学講義～天と地と人のあいだで～

池内了 著  
青土社

宇宙、人間の歴史、トランスサイエンス問題、科学者と軍事研究、原発再稼働の議論の最前線…。科学と倫理の問題を問い続けてきた著者の最終講義。2024年2月から6月までの講演をもとに書籍化。

朝日新聞 2025/05/31

2025:2./ 277p  
978-4-7917-7701-3

¥2,640〔税込〕



9 784791 777013



### 建築を見る技術

坂牛卓 著  
晶文社

建築と料理は同じ？音楽のようにリズムがある？見立て=類推を使って建築を設計している著者が、7つの対象に建築を見立てることで建築のもつ多様な側面に光を当てる。

朝日新聞 2025/05/31

2025:2./ 229p  
978-4-7949-7462-4

¥1,980〔税込〕



9 784794 974624



### 科学を否定する人たち～なぜ否定するのか？我々はいかに向き合うべきか？～

ゲイル・M. シナトラ、バーバラ・K. ホファー 著  
ちとせプレス

地球平面説、反ワクチン…。多くの証拠に基づいた科学を否定し、裏づけない意見に囚われるのはなぜか？科学に対する否定、疑い、抵抗を心理学的に解説し、科学理解の促進に向けて取り組むべき活動を提案する。

朝日新聞 2025/05/31

2025:3./ 312p  
978-4-908736-39-1

¥3,080〔税込〕



9 784908 736391



### 芭蕉はがまんできない～おくのほそ道随行記～(集英社文庫 せ 4-8)

関口 尚 著  
集英社

芭蕉の奥州への旅に同行する曾良は、師の抱える矛盾に翻弄されながらも、名句誕生の瞬間に立ち会える感動も味わい…。紀行文の最高峰に込められた奥深さを体感できる、画期的な歴史小説。『青春と読書』連載を加筆し文庫化。

東京・中日新聞 2025/05/03

2025:4./ 431p  
978-4-08-744765-1

¥1,056〔税込〕



9 784087 447651



### アイギス

葉山 透 著  
ポプラ社

AIに仕事を奪われたプログラマー・葵の元に、デジタル庁危機管理部門の深町がやってくる。葵をリストラに追いやったAI「アイギス」が突然不具合を起こしたという。失踪した開発者の手紙にはアイギスが再度暴走するとあり…。

東京・中日新聞 2025/05/03

2025:3./ 406p  
978-4-591-18567-4

¥2,420〔税込〕



9 784591 185674



**美人までの階段 1000 段あってもう潰れそうだけどこのシートマスクを信じてる**

エリース・ヒュー 著  
新潮社

美容のための労力、つまり自分の外見に費やす努力を、自己改善と同じものだと信じる今の韓国。最先端コスメ、黄金の肌管理、世界一の美容整形など「完璧な顔」に目覚めた女性記者が、美容都市ソウルの秘密を明かす。

東京・中日新聞 2025/05/04

2025:2./ 333p  
978-4-10-507441-8  
¥2,420〔税込〕



**虚構の日米安保～憲法九条を棚にあげた共犯関係～(筑摩選書 0299)**

古関 彰一 著  
筑摩書房

平和憲法を骨抜きにした歴代内閣と米国による日米共犯関係の戦後史をえぐり出し、米国の戦後一貫した安全保障政策、同盟国・米国と日本との信頼にズレが生じつつある実態を解明する。

東京・中日新聞 2025/05/04

2025:3./ 333p  
978-4-480-01817-5  
¥2,090〔税込〕



**戦火のバタフライ**

伊兼 源太郎 著  
講談社

南方戦線でただ一人生き残った尾崎、東京大空襲で家族を失ったさくら。厚生省職員となった尾崎は、大物政治家の助力を得て民間戦争被害者への国家補償の実現を目指す。そんな尾崎の身に次々と不審な出来事が起き…。

東京・中日新聞 2025/05/04、毎日新聞 2025/05/31

2025:3./ 493p  
978-4-06-537659-1  
¥2,585〔税込〕



**私たちは何を捨てているのか～食品ロス、コロナ、気候変動～(ちくま新書 1848)**

井出 留美 著  
筑摩書房

日本では年間 4 兆円失われていると言われる食品ロス。地球規模の事象と複雑に絡まった因果関係を、牛乳、コメ、卵など身近な食べ物をめぐる話題から賞味期限と消費期限、ごみ問題まで、多数の事例を挙げながら丁寧に解説する。

東京・中日新聞 2025/05/11

2025:3./ 272p  
978-4-480-07677-9  
¥1,012〔税込〕



**ギンガムチェックと塩漬けライム～翻訳家が読み解く海外文学の名作～**

鴻巣 友季子 著  
NHK出版

翻訳家・文芸評論家である著者が、誰もが知る名著を全く新しい切り口で解説し、小説のあじわい方を指南する大人向けブックガイド。作品理解の深まる英語トリビアも満載。NHK テキスト『ラジオ英会話』連載を加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2025/05/11、読売新聞 2025/05/25

2025:4./ 258p  
978-4-14-081987-6  
¥1,980〔税込〕





### 1秒24コマのぼくの人生

りん たらう 著

河出書房新社

美しい描線、迫力の大画面、ペンで描かれた長編映画-。「銀河鉄道 999」「幻魔大戦」「メトロポリス」...。日本を代表するアニメーション監督りんたらうがおくる、フランス発の自伝漫画(バンド・デシネ)。

東京・中日新聞 2025/05/17

2024:12./ 255p  
978-4-309-25784-6

¥3,520〔税込〕



### 口出し屋お貫

中島 要 著

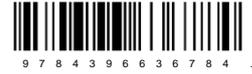
祥伝社

3度目の奉公先から暇を取ったおれんは、昔馴染みの口入れ屋を訪ねた。先代から店を継いだ孫のお貫が、奉公先を辞めた経緯を語らせるのに反発して、おれんは店を飛び出す...。『小説 NON』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

東京・中日新聞 2025/05/17

2025:4./ 251p  
978-4-396-63678-4

¥1,870〔税込〕



### 楽しい音の鳴るほうへ〜はちみつぱい・和田博巳の青春放浪記 1967-1975〜

和田博巳 著

アルテスパブリッシング

寒村の記憶、音楽の原体験、東京での刺激的な日々、中津川の衝撃...。伝説のロック喫茶「ムーヴィン」元店主にして、「はちみつぱい」のベーシストが、圧倒的に自由で豊かだった青春を軽妙な筆致で語った半生記。

東京・中日新聞 2025/05/18

2025:3./ 197p  
978-4-86559-306-8

¥2,200〔税込〕



### わたしたちはどう生きるのか〜JR 福知山線脱線事故から 20 年〜

コトノ出版舎

東京・中日新聞 2025/05/18

2025:4./ 320p  
978-4-9910423-2-4

¥1,980〔税込〕



### 墳墓記

高村 薫 著

新潮社

老いて死に瀕した一人の男が、長い長い仮死の夢を見る。そこに沸き立つのは高らかな万葉びとの声、源氏物語や伊勢物語の声、古今・新古今の歌の声-。古代と現代文の自在な往還を試みた長編小説。『新潮』掲載に加筆・修正。

東京・中日新聞 2025/05/18、日本経済新聞 2025/05/31

2025:3./ 179p  
978-4-10-378411-1

¥2,090〔税込〕





### 人よ、花よ、<上>

今村翔吾 著

朝日新聞出版

軍神と崇められる楠木正成を父に持つ正行は、戦なき世を求めて、北朝に降る決意を固める。それは、楠木家こそ挽回の鍵だと頼みにしている南朝を滅亡に向かわせることに他ならないのだが…。『朝日新聞』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2025/05/24

2025:4./ 486p  
978-4-02-252045-6

¥2,310〔税込〕



### 人よ、花よ、<下>

今村翔吾 著

朝日新聞出版

楠木正行は、南朝に与する楠木党の強さを誇示することで北朝の厭戦気分を高めたところで、和議を進める策をとる。北朝に降ることを前提とした戦に勝ち続け、和議への道が目前に迫るが…。『朝日新聞』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2025/05/24

2025:4./ 415p  
978-4-02-252046-3

¥2,200〔税込〕



### 国民的チェーンめし研究〜〇〇の△△はなぜうまいのか?〜

東山広樹 著

カンゼン

ラーメン二郎のプタ入りラーメン、松屋の牛めし…。年間 400 軒超の飲食店を食べ歩きし、料理の美味しさをとことん追求する料理人が、「国民的チェーンめし」のうまさを、科学的かつ情熱的に語る。

東京・中日新聞 2025/05/24、朝日新聞 2025/05/24

2025:2./ 167p  
978-4-86255-748-3

¥1,760〔税込〕



### 緑地と文化〜社会的共通資本としての杜〜(岩波新書 新赤版 2060)

石川 幹子 著

岩波書店

明治神宮外苑における樹木の強行伐採。この問題の本質は何か。都市と緑地が織りなす物語を歴史的パースペクティブと国際比較の視点から描き出し、文化を支える「社会の富」としての公園緑地のこれからを問い直す。

東京・中日新聞 2025/05/25

2025:4./ 252p  
978-4-00-432060-9

¥1,034〔税込〕



### 日系アメリカ人強制収容からの<帰還>〜人種と世代を超えた戦後補償運動〜

油井 大三郎 著

岩波書店

第二次大戦中、強制収容所に送られた日系アメリカ人。極小マイノリティであるばかりか、収容体験を葬り去るべき「トラウマ」として抱え込んだ彼らがなぜ、謝罪と補償(リドレス)を実現できたのか。その過程を問い直す。

東京・中日新聞 2025/05/31

2025:2./ 278p  
978-4-00-061682-9

¥3,190〔税込〕





### 政治学<上>(光文社古典新訳文庫 KB ア 2-4)

アリストテレス 著  
光文社

後世に大きな影響を与えた政治哲学の最重要古典。上は、共同体についての緒論と家政論、先人の国家論と諸国制についての検討、国家、国制、市民の関係、王制以外の諸国制と現実的な最善の国制を収録。

東京・中日新聞 2025/05/31

2023:7./ 600p  
978-4-334-75482-2

¥1,760〔税込〕



### 政治学<下>(光文社古典新訳文庫 KB ア 2-5)

アリストテレス 著  
光文社

後世に大きな影響を与えた政治哲学の最重要古典。下は、国制の変動の原因と対策、民主制と寡頭制の課題、理想的な最善の国制、最善の国家の教育制度を収録。

東京・中日新聞 2025/05/31

2023:7./ 493p  
978-4-334-75483-9

¥1,540〔税込〕



### スティグリッツ資本主義と自由

ジョセフ・E・スティグリッツ 著  
東洋経済新報社

超富裕層による搾取をどう食い止めるのか？ トランプ後の世界はどこへ向かうのか？ 公正で自由な社会を推進するのはどのような経済なのか？ ノーベル賞経済学者が、これからの経済社会に関するビッグピクチャーを描く。

東京・中日新聞 2025/05/31

2025:6./ 512p  
978-4-492-31564-4

¥3,080〔税込〕



### イソップのお話 新版(岩波少年文庫 20)

イソップ 著  
岩波書店

有名な「イソップ寓話集」から、少年少女のために選りすぐった300編。「ライオンとネズミ」「北風と太陽」などのだれでも知ってるい話から珍しい話まで、原典ギリシア語からの訳。86年刊に次ぐ新版。

読売新聞 2025/05/04

2000:6./ 326p  
978-4-00-114020-0

¥968〔税込〕



### 人生後半にこそ読みたい秀歌

永田和宏 著  
朝日新聞出版

生物学的には意味のない「後の生」のおもしろさと豊かさは、どのように詠われてきたのか。人生後半にこそ読みたい秀歌を紹介しながら、中高年期を充実して生きるヒントを探る。『一冊の本』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2025/05/04

2025:4./ 273p  
978-4-02-252051-7

¥1,980〔税込〕





### 万博からみた音楽史(中公文庫 い 145-1)

井上さつき 著  
中央公論新社

ロンドン、パリ、シカゴ、ブリュッセル、大阪で開催され、音楽の多様化、楽器の発展に寄与した近代万博の歴史を、豊富な図版とともに解説。日本製の楽器や前衛音楽に関する逸話も満載。

読売新聞 2025/05/04

2025:2./ 334p  
978-4-12-207615-0

¥1,078 [税込]



### BORN TO RUN<2> “走る民族”から学ぶ究極のトレーニングガイド

クリストファー・マクドゥーガル／エリック・オートン 著  
NHK出版

秘境の長距離ランナー「タラウマラ族」の教えや長年にわたる調査、世界各地のランナーの経験をもとにした、実践的トレーニングガイド。最強の食事リセット、故障の予防と治療などを解説する。

読売新聞 2025/05/04

2025:1./ 409p  
978-4-14-081982-1

¥3,465 [税込]



### 同志少女よ、敵を撃て(ハヤカワ文庫 JA 1585)

逢坂 冬馬 著  
早川書房

独ソ戦が激化する 1942 年、母をドイツ軍に惨殺され、赤軍の女性兵士に救われた少女セラフィマは、復讐のため、訓練学校で一流の狙撃兵になることを決意する。訓練を重ねた彼女は、やがてスターリングラードの前線へ…。

読売新聞 2025/05/04

2024:12./ 601p  
978-4-15-031585-6

¥1,210 [税込]



### NEXUS 情報の人類史<上> 人間のネットワーク

ユヴァル・ノア・ハラリ 著  
河出書房新社

印刷術やマスメディアは文明に何をもたらしたのか? AI は何を変えるのか? 石器時代からシリコン時代まで、人類の大規模な協力のネットワーク=「情報ネットワーク」の変遷をたどり、今後の展開や対策の手掛かりを探る。

読売新聞 2025/05/04

2025:3./ 304p  
978-4-309-22943-0

¥2,200 [税込]



### NEXUS 情報の人類史<下> AI 革命

ユヴァル・ノア・ハラリ 著  
河出書房新社

印刷術やマスメディアは文明に何をもたらしたのか? AI は何を変えるのか? 石器時代からシリコン時代まで、人類の大規模な協力のネットワーク=「情報ネットワーク」の変遷をたどり、今後の展開や対策の手掛かりを探る。

読売新聞 2025/05/04

2025:3./ 328p  
978-4-309-22944-7

¥2,200 [税込]





**孤独の科学～なぜ寂しくなるのかなぜつながりを求めるのか～ 新装版(河出文庫 カ4-1)**

ジョン・T・カシオポ／ウィリアム・パトリック 著

河出書房新社

その孤独感には理由がある！脳と心のしくみから、遺伝と環境、進化のプロセス、病との関係、社会・経済的背景まで、さまざまな角度から「つながり」を求める動物としての人間の本性に迫る。新たに解説を加えた新装版。

読売新聞 2025/05/04

2025:4./ 457p  
978-4-309-46812-9

¥1,650〔税込〕



**文部省の国体明徴政策～思想はどのようにして政策になるのか～(叢書パルマコン 09)**

植村 和秀 著

創元社

文部省が昭和 10 年代に推進した国体明徴政策を思想的政策と位置付け、この政策が企画される経緯と企画における疑問点や問題点に注目しつつ政策形成過程を把握し、政策としての客観的な評価を行う。

読売新聞 2025/05/04

2025:2./ 441p  
978-4-422-20479-6

¥4,950〔税込〕



**台湾文学の中心にあるもの**

赤松美和子 著

イースト・プレス

激動する歴史の中で、文学が社会を動かし、文学が人のパワーの根源となっている台湾。日本語で読める約 50 作品を紹介しながら、政治に翻弄されつつも必死に格闘し、社会に介入してきた台湾文学を読み解き、その全貌を示す。

読売新聞 2025/05/04

2025:1./ 285p  
978-4-7816-2415-0

¥1,980〔税込〕



**世界を変えた建築構造の物語(草思社文庫 ア6-1)**

ロマ・アグラワル 著

草思社

アーチ、鉄骨トラス…。古代から現代にいたるまで、先人たちはどのように建物の物理的な困難を克服する知恵=「構造」を発明してきたのか。世界的な建築の構造設計集団のエンジニアが、その偉大な物語を図版とともに徹底解説。

読売新聞 2025/05/04

2025:4./ 356p  
978-4-7942-2778-2

¥1,650〔税込〕



**2024 年の本部町営市場**

橋本倫史 著

トゥーヴァージンズ

1975 年に沖縄国際海洋博覧会の会場となり一躍有名になった、沖縄本島北部にある町・本部。取り壊しが決定した本部町営市場で店を切り盛りする 23 人の聞き書きと、写真家や建築士などの寄稿・談話を収録する。

読売新聞 2025/05/04

2025:3./ 357p  
978-4-86791-048-1

¥1,980〔税込〕





### そういえば最近

寺地 はるな 著

U-NEXT

売れっ子作家・匙小路ルイの友人、谷川夫婦が消えた。ルイは2人の消息を追うついでに、夫婦のことを新作の題材にできないかと思案する。ところがある怪奇現象が起きて…。U-NEXT オリジナル電子書籍を書籍化。

読売新聞 2025/05/04

2025:3./ 233p  
978-4-911106-33-4

¥1,760〔税込〕



### 本ができるまで～カラー版～ 増補版(岩波ジュニア新書 999)

岩波書店編集部 著

岩波書店

本づくりの歴史を調べ、印刷、製本の現場を訪ねてみませんか。初版刊行から約20年。印刷業界のデジタル化の軌跡を、カラー図版とともに振り返ります。

読売新聞 2025/05/04、産経新聞 2025/05/25

2025:4./ 234p  
978-4-00-500999-2

¥1,320〔税込〕



### 歴史のなかの貨幣～銅銭がつないだ東アジア～(岩波新書 新赤版 2057)

黒田 明伸 著

岩波書店

歴代中国王朝が鑄造した数千億枚の銅銭は、やがて海を越え、中世東アジアの政治・経済・社会に大きなインパクトをもたらした。銅銭はなぜ各国政府の保証なしに商取引の回路を成り立たせてきたのか。東アジア貨幣史の謎に迫る。

読売新聞 2025/05/04、朝日新聞 2025/05/10

2025:3./ 236p  
978-4-00-432057-9

¥1,056〔税込〕



### 天使も踏むを畏れるところ<上>

松家 仁之 著

新潮社

敗戦から15年、空襲で焼け落ちた明治宮殿の跡地に、皇居「新宮殿」造営の大プロジェクトが動き出す。村井俊輔を中心に、「象徴天皇」にふさわしい宮殿のありかたを懸命に模索する人びとを描く。『新潮』連載を単行本化。

読売新聞 2025/05/04、朝日新聞 2025/05/17

2025:3./ 545p  
978-4-10-332814-8

¥2,970〔税込〕



### 天使も踏むを畏れるところ<下>

松家 仁之 著

新潮社

皇室の伝統と民主社会の節点を探りながら、「新宮殿」の設計は佳境を迎えようとしている。建築家・村井俊輔を支える者、反目する者、立ちはだかる壁…。理想の建築をめぐる人間ドラマを描く大長篇。『新潮』連載を単行本化。

読売新聞 2025/05/04、朝日新聞 2025/05/17

2025:3./ 545p  
978-4-10-332815-5

¥2,970〔税込〕





### 踊るのは新しい体〜複製可能な者たちのための身体論〜

太田 充胤 著

フィルムアート社

ボーカロイド、VTuber、TikTok、AI、SF、メディアアート、盆踊り…。医師であり元ダンサーの俊英が放つ、エキサイティングなダンス=身体=メディア論。ウェブサイト『かみのたね』連載他を加筆・改稿。

2025:3./ 298p  
978-4-8459-2417-2

¥2,640〔税込〕



読売新聞 2025/05/04、日本経済新聞 2025/05/10



### YABUNONAKA-ヤブノナカ-

金原 ひとみ 著

文藝春秋

ある女性が、かつて文芸誌元編集長の木戸から性的搾取をされていたとネットで告発した。出版界を舞台に性、権力、暴力、愛につき動かされる人間たちのドラマは予想もつかないクライマックスへ…。『文學界』連載を加筆・修正。

2025:4./ 527p  
978-4-16-391968-3

¥2,420〔税込〕



読売新聞 2025/05/04、日本経済新聞 2025/05/17



### 大江満雄セレクション

木村哲也 編

大江満雄 著

書肆侃侃房

戦後の激動期を生き抜いた詩人・大江満雄。常に混交のなかに身を置き、社会の片隅で生きる人々へのあたたかいまなざしにあふれた作品群を残した。単行本初収録作品を含む詩 63 篇と散文 8 篇を収録する。

2025:3./ 257p  
978-4-86385-662-2

¥2,200〔税込〕



読売新聞 2025/05/04、毎日新聞 2025/05/10



### 密林の語り部(岩波文庫 赤 796-3)

バルガス=リョサ 著

岩波書店

インディオの生活や信条、文明が侵すことのできない未開の人々の心の砦を描きながら、「物語る」という行為のもっとも始原的な形である語り部の姿を通して、われわれにとって「物語」とはどのような意味を持つのかを問う傑作。

2011:10./ 360p  
978-4-00-327963-2

¥1,100〔税込〕



読売新聞 2025/05/11



### 落雷と祝福〜「好き」に生かされる短歌とエッセイ〜

岡本真帆 著

朝日新聞出版

日没のあとの光としてそこに人を集める駅の花屋は 花を買うこと、グミ、犬、ぬいぐるみ…。さまざまな「好き」に揺れる心を見つめ、詠んだ短歌とエッセイを収録する。作歌のヒント「「好き」で短歌をつくるには?」も掲載。

2025:4./ 212p  
978-4-02-252049-4

¥1,870〔税込〕



読売新聞 2025/05/11



### しらゆきの果て

澤田 瞳子 著

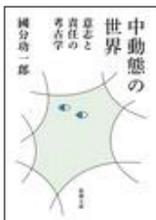
KADOKAWA

六十路を越した老境の絵師・喜平治(宮川一笑)は、肉筆美人画の名手・菱川師宣の曾孫である伊平の面倒を見ることになるが…。美に魅了された人々の営みを描いた歴史小説集。『小説野性時代』掲載を単行本化。

読売新聞 2025/05/11

2025:2./ 252p  
978-4-04-114150-2

¥1,980〔税込〕



### 中動態の世界～意志と責任の考古学～(新潮文庫 こ-73-2)

國分 功一郎 著

新潮社

中動態とは何か。哲学者・國分功一郎がバンヴェニスト、アレントに学び、デリダ、ハイデッガー、ドゥルーズを訪ね直し、アガンベンに教えられ、そして新たなスピノザと出会うことで中動態の世界に迫る。補遺を加えて文庫化。

読売新聞 2025/05/11

2025:4./ 525p  
978-4-10-103542-0

¥990〔税込〕



### 逃亡者は北へ向かう

袖月 裕子 著

新潮社

3月の東北。震災直後に殺人を犯してしまった真柴亮は、一通の手紙を手に北へ向かう途中、家族とはぐれた子供と出会う。一方、刑事の陣内康介は、津波で娘を失いながらも真柴を追い…。『週刊新潮』連載を加筆・修正。

読売新聞 2025/05/11

2025:2./ 378p  
978-4-10-356131-6

¥2,090〔税込〕



### 「見えない都市」を歩く～文学で旅するイタリア～

和田 忠彦 著

NHK出版

イタリア文学の泰斗が贈る、精緻かつ詩情豊かな文学ガイド。数々の名作を生み出したイタリア文学の“聖地”を訪ね、作品を手に歩くような視点で、作家たちが遺した声と足跡をたどる。

読売新聞 2025/05/11

2025:3./ 272p  
978-4-14-081985-2

¥2,200〔税込〕



### 闇の左手(ハヤカワ文庫 SF 252)

アーシュラ・K・ル・グイン 著

早川書房

読売新聞 2025/05/11

1981:1./ 379p  
978-4-15-010252-4

¥1,100〔税込〕





### スノウ・クラッシュ<上> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2354)

ニール・ステューヴンスン 著

早川書房

オンライン上に仮想世界「メタヴァース」が築かれた近未来のアメリカ。アバター技術を開発した凄腕ハッカーにしてピザの配達人であるヒロは、ある日、メタヴァースで「スノウ・クラッシュ」なる謎のドラッグを手渡され...

読売新聞 2025/05/11

2022:1./ 438p  
978-4-15-012354-3

¥1,188 [税込]



9 784150 123543



### スノウ・クラッシュ<下> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2355)

ニール・ステューヴンスン 著

早川書房

「スノウ・クラッシュ」を使用したアバターは制御不能となり、現実世界の実体までもが意識不明に陥った。調査に乗り出したヒロは、ライブラリアン AI の導きで自意識や言語の発生源へと古代シュメール史を遡行し...

読売新聞 2025/05/11

2022:1./ 462p  
978-4-15-012355-0

¥1,188 [税込]



9 784150 123550



### ギフトド/グレイスレス(文春文庫 す 28-1)

鈴木 涼美 著

文藝春秋

重病の母を見舞うホステスの娘を描いた「ギフトド」、AV 業界で化粧師をする女性と文化的に暮らす祖母との共同生活を描いた「グレイスレス」。生と性、聖と俗のあわいを冷徹に抉る 2 篇を合本し文庫化。

読売新聞 2025/05/11

2025:4./ 232p  
978-4-16-792354-9

¥836 [税込]



9 784167 923549



### 知性の罠～なぜインテリが愚行を犯すのか～(日経ビジネス人文庫 ろ 4-1)

デビッド・ロブソン 著

日経 B P 社

優秀で高い教育を受けた人ほど陥る「知性の罠」とは何か、それをどう回避すべきかを研究に基づいて解説。より良い学習法や生産性の高い組織作りにも言及し、真に賢く生きるための指針を示す。

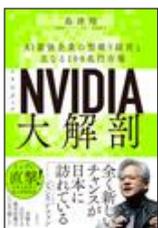
読売新聞 2025/05/11

2025:4./ 429p  
978-4-296-12445-9

¥1,100 [税込]



9 784296 124459



### NVIDIA 大解剖～AI 最強企業の型破り経営と次なる 100 兆円市場～

島津 翔 著

日経 B P 社

時価総額世界一を達成した超フラットな 3 万人企業「NVIDIA」。そこから日本企業は何を学ぶべきか。「NVIDIA」の意思決定の手法や組織、技術、歴史、人財を多角的に取材し、その秘密を解き明かす。

読売新聞 2025/05/11

2025:3./ 319p  
978-4-296-20788-6

¥1,980 [税込]



9 784296 207886



### 教育哲学講義～子ども性への回帰と対話的教育～

河野 哲也 著

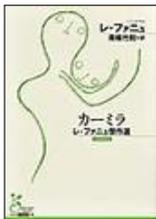
勁草書房

教育とは、人間を子どもへと成長させる過程、すなわち子ども性へ回帰させる過程と言えるのではないか。「子どもの哲学」と呼ばれる活動を行い、その内容を論じた講義を基に、教育についての新しい考え方を提示する。

読売新聞 2025/05/11

2025:2./ 280p  
978-4-326-29940-9

¥2,750 [税込]



### カーミラ～レ・ファニュ傑作選～(光文社古典新訳文庫 KAレ3-1)

レ・ファニュ 著

光文社

舞台はオーストリアの暗い森の中にたたずむ古城。美しい令嬢カーミラに魅せられた純真な少女ローラは、日に日に生気を奪われ、蝕まれていき…。表題作と怪奇幽霊譚5編を収めた、ゴシック小説の第一人者レ・ファニュの傑作選。

読売新聞 2025/05/11

2023:12./ 410p  
978-4-334-10167-1

¥1,364 [税込]



### 江戸東京庶民信仰事典

川副 秀樹 著

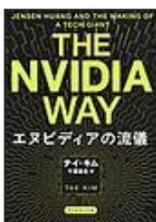
国書刊行会

いざ、願掛け散歩へ! 稲荷や地蔵、石仏・石塔から、地獄の神々、幽霊の供養碑まで。東京の庶民信仰スポット約500件を取り上げ、その縁起、迷信や俗信、御利益などを解説する。住所別/御利益別巡拝ガイド付き。

読売新聞 2025/05/11

2025:2./ 493p  
978-4-336-07565-9

¥4,950 [税込]



### エヌビディアの流儀

テイ・キム 著

ダイヤモンド社

突如としてテクノロジー業界の頂点にまでのぼり詰めたエヌビディア。「半導体」と「AI」という2つの重要産業を制し、株式市場のメガスターとなった企業の歴史を描き、その価値を解き明かすノンフィクション。

読売新聞 2025/05/11

2025:2./ 448p  
978-4-478-12014-9

¥2,640 [税込]



### ヒルマ・アフ・クリント～色彩のスピリチュアリティ～

港千尋 著

インスクリプト

彗星のごとく世紀をまたいで現れた、抽象画のパイオニア、ヒルマ・アフ・クリント。多くの作品と対話を続けてきた第一人者が、ヒルマ・アフ・クリントが探し求めた世界を訪ねる。

読売新聞 2025/05/11

2025:3./ 285p  
978-4-86784-009-2

¥2,750 [税込]





### 生きてりゃいいさ〜河島英五伝〜

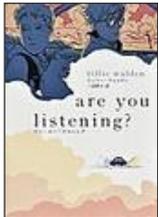
花房 観音 著  
西日本出版社

屈折した思いを持っていた下積み時代、CMに起用されて売れた「酒と泪と男と女」、シルクロードを漂流した一人旅…。シンガーソングライター・河島英五の生涯を、小説家・花房観音が描く。

読売新聞 2025/05/11

2025:4./ 251p  
978-4-908443-98-5

¥1,650〔税込〕



### are you listening?

ティリー・ウォルデン 著  
トゥーヴァージンズ

過去から逃れようとする2人の女性が出会い、偶然みつけた迷子猫との奇妙な旅がはじまった。痛みや悲しみを抱えながら、2人は地図にない道をすすんでいく。言葉にならない感情が静かに溢れだすグラフィックノベル。

読売新聞 2025/05/11

2023:4./ 319p  
978-4-910352-34-3

¥2,640〔税込〕



### 女ことばと日本語(岩波新書 新赤版 1382)

中村 桃子 著  
岩波書店

日本社会の価値や規範、庶民の憧れや国家イデオロギーを担って生き延びている、もうひとつの日本語「女ことば」。各時代のさまざまな言説と、言語学やジェンダー研究の知見から、「女ことば」の魅力と不思議を読み解く。

読売新聞 2025/05/18

2012:8./ 252p  
978-4-00-431382-3

¥880〔税込〕



### ひとりでしにたい<1>(モーニング KC)

カレー沢 薫／ドネリー美咲 著  
講談社

一人でよりよく死ぬためには、よりよく生きるしかない。愛と死をひたむきに見つめるフォービュートifulヒューマンライフストーリーの決定版誕生!

読売新聞 2025/05/18

2020:3./ 188p  
978-4-06-518993-1

¥792〔税込〕



### ソクラテスの妻(P+D BOOKS)

佐藤 愛子 著  
小学館

浮世離れした夫の行状に手を焼く妻の苦勞を描いた「ソクラテスの妻」、親友をモデルにした「加納大尉夫人」…。ユーモアと深いペーソスに彩られた、著者初期の意欲作3編を収録。

読売新聞 2025/05/18

2018:3./ 201p  
978-4-09-352332-5

¥715〔税込〕





**女の一生<1部> キクの場合(新潮文庫)**

遠藤 周作 著

新潮社

読売新聞 2025/05/18

1986:3./ 517p

978-4-10-112323-3

¥990〔税込〕



**女の一生<2部> サチ子の場合(新潮文庫)**

遠藤 周作 著

新潮社

読売新聞 2025/05/18

1986:3./ 494p

978-4-10-112324-0

¥935〔税込〕



**最後のひと葉(新潮文庫 オ-2-5)**

O. ヘンリー 著

新潮社

最後の葉っぱが落ちたら自分も死ぬという女性に、老画家が命がけて贈った希望とは-。表題作のほか、「感謝祭の二人の紳士」「芝居は人生だ」「金のかかる恋人」など、O・ヘンリーの傑作短篇 14 篇を集めた新訳版。

読売新聞 2025/05/18

2015:10./ 255p

978-4-10-207205-9

¥572〔税込〕



**母親になって後悔してる(新潮文庫 ト-26-1)**

オルナ・ドーナト 著

新潮社

もし時間を巻き戻せたら、再び母になることを選びますか？この質問に「ノー」と答えた 23 人の女性にインタビュー。母親になることで経験する多様な感情を明らかにし、社会に背負わされる重荷に苦しむ切実な思いを伝える。

読売新聞 2025/05/18

2025:3./ 400p

978-4-10-240741-7

¥1,045〔税込〕



**灼熱の魂(新潮文庫 ム-2-1)**

ワジディ・ムアウッド 著

新潮社

沈黙を続けていた母の奇妙な遺言を受け取った双子の姉弟。姉は死別したはずの父を、弟は存在すら知らぬ兄を、それぞれ探し出して手紙を渡せというのだ。母の生涯が明かされるにつれ、沈黙に隠された驚愕の事実が判明し…。

読売新聞 2025/05/18

2025:4./ 296p

978-4-10-240781-3

¥880〔税込〕



**タイ外交史を読み直す～「竹の外交論」からの脱却～**

パッタジット・タンシンマンコン 著

東京大学出版会

「外交上手な国」と言われてきたタイ。「竹の外交論」と呼ばれる伝統的なタイの外交史理解が、国内の政治対立や外交政策の失敗を隠蔽し、後付けで自己正当化するナショナリズムの神話の性質を持っていたことを明らかにする。

読売新聞 2025/05/18

2025:3./ 296p

978-4-13-036293-1

¥8,580〔税込〕





### 半生の絆(ハヤカワ epi 文庫 115)

張 愛玲 著  
早川書房

1930年代初め。上海で働く世鈞は、同じ工場の男性と恋に落ちた。しかし、さまざまな人間関係や残酷な裏切りによって、2人は引き裂かれてしまう。別々の人生を歩んだ2人は戦後まもなく再会するが…。珠玉の長篇を新訳。

読売新聞 2025/05/18

2025:3./ 638p  
978-4-15-120115-8

¥1,892 [税込]



### なぜ一流ほど験を担ぐのか

マイケル・ノートン 著  
早川書房

アガサ・クリスティは毎夕風呂でリングをかじり、オバマ元大統領は投票日に必ずバスケットをする…。作家、スポーツ選手、ビジネスパーソンが実践するクリエイティブな方法から日常のより幸せな過ごし方まで、「儀式」の力に迫る。

読売新聞 2025/05/18

2025:4./ 261p  
978-4-15-210422-9

¥3,025 [税込]



### 阿修羅のごとく(文春文庫)

向田 邦子 著  
文芸春秋

肉親のエゴと愛憎を赤裸々に描き、家族の在り方を追求してきた著者の到達点ともいうべき傑作。向田邦子の放送台本を小説化した文庫オリジナル、累計30万部のロングセラー!

読売新聞 2025/05/18

1999:1./ 413p  
978-4-16-727717-8

¥869 [税込]



### リワイルディング〜生態学のラディカルな冒険〜

ポール・ジェプソン、ケイン・プライズ 著  
勁草書房

狼の再導入、マンモスの復活、生態系の自己修復…。生態系の回復と社会の変革を目指す、真の革命「リワイルディング」の概念やプロジェクト例を紹介。地球の未来に向けた新しい指針を示す。

読売新聞 2025/05/18

2025:2./ 224p  
978-4-326-75060-3

¥3,300 [税込]



### 絶叫(光文社文庫 は 36-2)

葉真中頭 著  
光文社

マンションで孤独死体となって発見された女性の名は、鈴木陽子。刑事の綾乃は、彼女の足跡を追うほどにその壮絶な半生を知る。平凡な人生を送るはずが、深い闇の世界へ…。辿り着いた先に待ち受けていた予測不能の真実とは。

読売新聞 2025/05/18

2017:3./ 613p  
978-4-334-77450-9

¥1,012 [税込]





### 三省堂国語辞典から消えたことば辞典

見坊 行徳、三省堂編修所 著  
三省堂

歴代の「三省堂国語辞典」とその前身「明解国語辞典」から削除された 1000 項目をピックアップし、当時の紙面のまま拡大して収録。全項目に脚注を付し、「コギャル」「メインイベント」など 15 項目は時代背景を解説。

読売新聞 2025/05/18

2023:4./ 256p  
978-4-385-36624-1

¥2,090〔税込〕



### ポップリズムの仕掛人〜SNSで選挙はどのように操られているか〜

ジュリアーノ・ダ・エンポリ 著  
白水社

SNS という装置によって大衆が煽動される世界。怒りの感情をアルゴリズムで煽り、民主主義をカオスにおとし入れる人々をとりあげ、ポップリズム政治の「カーニバル化」を巧みに解明する。

読売新聞 2025/05/18

2025:3./ 210p  
978-4-560-09158-6

¥2,420〔税込〕



### 空から見た世界の食料生産〜人口爆発、気候変動、そして「食」の未来〜

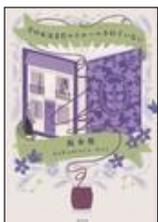
ジョエル・K・ボーン・ジュニア/マイケル・ポーラン 著  
原書房

巨大農地、グローバル食品企業の食肉加工場、水平線まで続くエビ養殖場、次世代型植物工場…。地球の「食」のリアルを、砂漠から熱帯雨林まで 6 大陸 36 カ国以上を撮影した鮮烈な写真で紹介する。

読売新聞 2025/05/18

2025:4./ 255p  
978-4-562-07535-5

¥6,380〔税込〕



### その本はまだリユールされていない

坂本 葵 著  
平凡社

小学校の図書館司書・まふみが住むリーブル荘には、世界的な製本家である綺堂瀧子親方とその孫で天才製本家の由良子が暮らしていた。本が好きなまふみは手製本の美しさに魅せられていき…。本好きに贈る心温まる物語。

読売新聞 2025/05/18

2025:3./ 236p  
978-4-582-83982-1

¥1,870〔税込〕



### 待ち遠しい(毎日文庫 し 2-1)

柴崎 友香 著  
毎日新聞出版

住み心地のいい離れの一軒家で一人暮らしを続ける 39 歳の春子。母屋に越してきた、夫を亡くしたばかりの 63 歳のゆかりと、裏手の家に暮らす、今どきの新婚 25 歳の沙希と出会い、「ご近所付き合い」が始まるが…。

読売新聞 2025/05/18

2023:1./ 397p  
978-4-620-21053-7

¥990〔税込〕





### 玉袋筋太郎の全女極悪列伝

玉袋 筋太郎／堀江 ガンツ／椎名 基樹 著  
白夜書房

長与千種、アジャコング、阿部四郎…。クラッシュ・ギャルズをはじめとする10人のプロレスラー・関係者のインタビューを掲載し、極悪のもとに数々の伝説が花開いた時代を振り返る。『KAMINOGE』連載を書籍化。

読売新聞 2025/05/18

2024:11./ 414p  
978-4-86494-541-7

¥2,420〔税込〕



### 企業インテリジェンス～組織を導く戦略的思考法～(講談社+α 新書 886-1C)

稲村 悠 著  
講談社

グローバル経済が大転換する今、必要なのはインテリジェンス・サイクルの実装。企業を襲う危機の対応から新規事業創出まで可能にする、インテリジェンス・サイクルの手法を実務家が指南。チェックリスト付き。

読売新聞 2025/05/18、日本経済新聞 2025/05/24

2025:4./ 200p  
978-4-06-535999-0

¥1,100〔税込〕



### ブレイクショットの軌跡

逢坂 冬馬 著  
早川書房

自動車期間工の本田昂は、2年11カ月の寮生活を終えようとしていた。最終日、同僚がSUVブレイクショットのボルトをひとつ車体の内部に落とすのを目撃する。見過ごせば明日からは自由の身だが…。

読売新聞 2025/05/18、日本経済新聞 2025/05/24

2025:3./ 577p  
978-4-15-210411-3

¥2,310〔税込〕



### それでも人生にYes と言うために～JR 福知山線事故の真因と被害者の20年～

柳田 邦男 著  
文藝春秋

JR 福知山線脱線事故から20年。事故原因の検証に携わるとともに、遺族、負傷者、医療従事者、企業の対応など、多角的な取材を積み重ね、人間と技術の相克を問い続けた著者によるノンフィクション。

読売新聞 2025/05/18、日本経済新聞 2025/05/24

2025:4./ 574p 図版 8  
枚

978-4-16-390637-9

¥2,860〔税込〕



### 谷根千、ずーっとある店

森まゆみ 著  
朝日新聞出版

谷中・根津・千駄木に長く続くお店、工房など60軒以上を訪ねる。これからもずっとご近所に居続けてほしい、そんなお店と家族のライフストーリー。『仕事旅行』連載に書き下ろしを加え再編集。

読売新聞 2025/05/18、毎日新聞 2025/05/24

2025:3./ 590p  
978-4-02-252042-5

¥2,860〔税込〕





**青年 改版(岩波文庫 緑 5-4)**

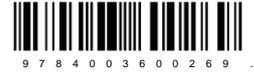
森 鷗外 著  
岩波書店

現代社会を描きたいという希望をもって東京へ出た文学青年・小泉純一が、初志に反して伝説を題材とした小説を書こうと決意するまでの体験と知的成長を描く。森鷗外初の現代長篇小説。須田清次の解説も収録。

読売新聞 2025/05/25

2017:4./ 350p  
978-4-00-360026-9

¥814〔税込〕



**21世紀版少年少女日本文学館<18> サアカスの馬・童謡**

安岡 章太郎／吉行 淳之介／遠藤 周作／阿川 弘之／小川 国夫／北 杜夫／村上 豊 著

講談社

少年期の長い病気による肉体的・心理的な変化を描いた吉行淳之介の「童謡」、安岡章太郎の「サアカスの馬」ほか、戦後に花開き、新しい時代を切り開いた作家たちによる全8編を収録。読みやすい総ルビ、豊富な用語解説付き。

読売新聞 2025/05/25

2009:4./ 285p  
978-4-06-282668-6

¥1,540〔税込〕



**夫婦善哉 決定版(新潮文庫 お-2-1)**

織田 作之助 著  
新潮社

惚れた弱みか腐れ縁か、ダメ亭主柳吉に尽くす女房蝶子…。大阪文学の名作「夫婦善哉」に、新発見の幻の続編を収録した決定版。ほか、「木の都」「六白金星」「アド・バルーン」など全7篇を所収。

読売新聞 2025/05/25

2016:9./ 304p  
978-4-10-103702-8

¥649〔税込〕



**武者小路実篤詩集 改版(新潮文庫)**

武者小路実篤 著  
新潮社

平明な言葉、素朴な響きのうちに深い人生の知恵がこめられ、“無心”へのあこがれを東洋風のおおらかな表現で謳い上げた代表詩 117 編。

読売新聞 2025/05/25

2002:2./ 205p  
978-4-10-105712-5

¥539〔税込〕



**しぶちん 改版(新潮文庫)**

山崎 豊子 著  
新潮社

読売新聞 2025/05/25

2005:7./ 228p  
978-4-10-110405-8

¥506〔税込〕





### 石原吉郎～シベリア抑留詩人の生と詩～(中公文庫 ほ 25-1)

細見和之 著

中央公論新社

重労働と飢え、人間不信…。極寒の地シベリアで詩人・石原吉郎は何を体験し、日本社会に何を見たのか。62年の生涯をたどり、詩からエッセイ、短歌俳句まで精緻に読み解き、戦中・戦後体験と透徹した作品世界を捉えなおす。

読売新聞 2025/05/25

2025:3./ 465p  
978-4-12-207633-4

¥1,650〔税込〕



### 戦争童話集 完全版(中公文庫 の 3-16)

野坂昭如 著

中央公論新社

昭和20年、8月15日-すべて同じ書き出しで始まる、忘れてはならない物語。空襲下の母子を描く「凧になったお母さん」など鎮魂の祈りをこめて綴られた「戦争童話集」12篇に、沖縄戦の悲劇を伝える2篇を増補した完全版。

読売新聞 2025/05/25

2025:4./ 254p  
978-4-12-207646-4

¥880〔税込〕



### 仏教を「経営」する～実験寺院のフィールドワーク～(NHK ブックス 1293)

藏本 龍介 著

NHK出版

ミャンマーで出家した著者は、布施のみで生きる出家者のあり方に仏教の可能性を確信し、帰国後京都で新寺院を立ち上げて現代日本に即した仏教のあり方を追求しはじめたが…。宗教の本質と現代的可能性に迫るノンフィクション。

読売新聞 2025/05/25

2025:2./ 283p  
978-4-14-091293-5

¥1,760〔税込〕



### まさか私がクビですか?～なぜか裁判沙汰になった人たちの告白～

日本経済新聞「揺れた天秤」取材班 著

日経BP社

洗剤「お持ち帰り」で失った銀行副店長のポスト、泥酔で失った商社内定…。実際の民事訴訟や刑事事件を題材に、「誰もが陥りかねない社会の落とし穴」を浮き彫りにする。『日本経済新聞』電子版連載を書籍化。

読売新聞 2025/05/25

2025:3./ 319p  
978-4-296-20750-3

¥1,980〔税込〕



### PARK STUDIES～公園の可能性～

石川初 著

鹿島出版会

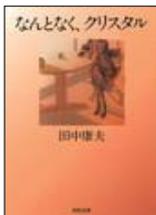
公園には、公園を取り巻く社会や時代が求めるものが写し絵のようにあらわれる。新・公園の三種の神器、禁止しないサイン、樹木のつくる時間の厚み、ゴルフコースなど、公園的な風景を巡る。『KAJIMA』連載を書籍化。

読売新聞 2025/05/25

2025:3./ 167p  
978-4-306-07373-9

¥1,980〔税込〕





### なんとなく、クリスタル(河出文庫 た 8-1)

田中 康夫 著  
河出書房新社

日本がバブル経済に沸く直前、1980年の東京を皮膚感覚で生きる若い女性たちを描き、80年代以降の日本人の精神風土、そして「豊かさ」の終焉までを予見。膨大な“注”に彩られ、精緻で批評的な企みに満ちた不朽の傑作。

読売新聞 2025/05/25

2013:11./ 241p  
978-4-309-41259-7

¥836〔税込〕



### 小池真理子短篇セレクション<5> 夢のかたみ

小池 真理子 著  
河出書房新社

一枚の写真が呼び起こす、かくも熱く美しき日々…。老女流作家の胸に去来する過ぎし時の情景、遠い日のエロスを、あふれるノスタルジーで描く表題作他、「チルチルの丘」「路地裏の家」など著者自選の4編を収録。

読売新聞 2025/05/25

1997:10./ 201p  
978-4-309-60295-0

¥1,760〔税込〕



### 眠れる主権者～もう一つの民主主義思想史～

リチャード・タック 著  
勁草書房

法理論と政治思想史を統合する重要書。主権と統治の区別の歴史と、民主主義思想の発展におけるその重要性を描き出す。2012年開催のケンブリッジ大学の講義をもとに書籍化。

読売新聞 2025/05/25

2025:4./ 320p  
978-4-326-45145-6

¥4,950〔税込〕



### 介護と相続、これでもめる!～不公平・逃げ得を防ぐには～(光文社新書 1357)

姉小路祐 著  
光文社

1人で背負った親の介護。精神的にも追い詰められる日々のあとに襲ってきたのは、兄弟姉妹との相続トラブルだった。-。実体験をベースに、介護経験者の声を拾い、日本の社会構造的な欠陥や大事な心構えなどを語る。

読売新聞 2025/05/25

2025:4./ 229p  
978-4-334-10621-8

¥1,012〔税込〕



### ウスバカ談義(ちくま文庫 う 51-1)

梅崎 春生 著  
筑摩書房

ウスバカと大バカの違いとは? 買ってきたタコは何故7本脚なのか? 強烈な知人・友人たちとの奇妙な会話、突飛なエピソード、滲み出す虚無感。戦後派の巨匠が贈る昭和のユーモア短編集。全11編を収録する。

読売新聞 2025/05/25

2025:3./ 300p  
978-4-480-44010-5

¥1,100〔税込〕





### 堺屋太一著作集<第1巻> 油断!/団塊の世代

堺屋 太一 著  
東京書籍

「団塊の世代」をはじめ数々の新語を生み出し、ベストセラーを世に送り出してきた堺屋太一のベストセレクション。第1巻は、「油断!」「団塊の世代」を収録する。作者自身による解説付き。

2016:6./ 573p  
978-4-487-81011-6

¥3,850〔税込〕



読売新聞 2025/05/25



### クビライ・カアン の驚異の帝国～モンゴル時代史鶏肋抄～(叢書・知を究める 27)

宮 紀子 著  
ミネルヴァ書房

アジア、ヨーロッパ、そしてアフリカ(アフロ・ユーラシア)、世界を跨ぎ、人・物・情報が縦横無尽に交流していたモンゴル時代を、マクロ、ミクロ、さまざまな視点から、時に現代・日常生活に引き付けつつ紐解く。

2025:3./ 354p  
978-4-623-09846-0

¥3,080〔税込〕



読売新聞 2025/05/25



### 映画の構造分析 新版(SHOBUNSHA LIBRARY)

内田樹 著  
晶文社

「エイリアン」が反映するフェミニズム的メッセージとは? 「大脱走」の裏に隠された「父殺し」のドラマとは? ハリウッド映画の物語分析を通じて、現代思想のエッセンスを伝える。近年の話題作を取り上げた新版。

2025:5./ 330p  
978-4-7949-7472-3

¥2,420〔税込〕



読売新聞 2025/05/25



### 就職しないで生きるには 新版(SHOBUNSHA LIBRARY)

レイモンド・マンゴー 著  
晶文社

嘘にまみれて生きるのはイヤだ。だが生きていくためにはお金がいる。だから自分の生きるリズムにあわせて労働し、人びとが本当に必要とするものを売って暮らすのだ...。働き方・ライフスタイル本の原点となる書。

2025:5./ 230p  
978-4-7949-7473-0

¥2,090〔税込〕



読売新聞 2025/05/25



### 散文 新版(SHOBUNSHA LIBRARY)

谷川俊太郎 著  
晶文社

旅と出会い、日々の思索、書くことへの自問...。世界的美しさに酔いながらも、どんなさやかなものも決して知りつくすことができない自分に奇妙ないら立ちを覚える。詩人・谷川俊太郎が60～70年代に綴ったエッセイ集。

2025:5./ 317p  
978-4-7949-7474-7

¥2,420〔税込〕



読売新聞 2025/05/25



## ノー・アニマルズ

鈴木 涼美 著

ホーム社

両親が離婚し、母とふたり暮らしの高校生・羽衣。母の今の恋人が気に入らなくて...。2025年に取り壊しが決まっている期限付きの“棲み処”。そこで生きる人間たちの「欲望」を描いた連作集。『HB』連載に加筆・修正。

読売新聞 2025/05/25

2025:3./ 266p  
978-4-8342-5398-6

¥2,090〔税込〕



## 純喫茶図解

塩谷 歩波 著

幻冬舎

アンティークの調度品にシェードランプの薄明かり、個性あふれる床タイル、妖しく微笑むトーテムポール...。都内、近郊 18 軒の純喫茶を建築図法のイラストで紹介する。『幻冬舎 plus』連載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2025/05/25、朝日新聞 2025/05/31

2025:4./ 127p  
978-4-344-04425-8

¥1,650〔税込〕



## 現代経済学<8> 国際経済学

天野 明弘、小宮 隆太郎 著

岩波書店

日本経済新聞 2025/05/03

1972:1./ 466p



## 帝国と観光〜「満洲」ツーリズムの近代〜

高 媛 著

岩波書店

観光を通じて満洲における「帝国の物語」はどのように紡がれ、満洲国崩壊後の「失われた帝国への郷愁」はどのように醸成されたのか。観光が生み出した欲望と記憶の背後に潜む政治的意図や複雑な構造を明らかにする。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:3./ 342p  
978-4-00-024070-3

¥4,730〔税込〕



## 昭和経済史(岩波現代文庫 学術 176)

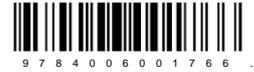
中村 隆英 著

岩波書店

激動の時代に経済はどう動いたか。バランスのとれた視点と堅実な手法で変化と連続の両側面を解明する。

日本経済新聞 2025/05/03

2007:5./ 410p





**女性政治家が増えたら何がかわるのか(集英社新書 1253)**

秋山 訓子 著  
集英社

女性の存在と女性にまつわる政策を“頼みの綱”にしている政治家たち。地方政治で何が起き、女性たちはどう政治を変えつつあるのか。海外の事例も含めて、データとともにひもとく。『朝日新聞』ほか掲載を加筆し新書化。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:3./ 205p  
978-4-08-721353-9

¥1,045〔税込〕



9 784087 213539

**元禄御豊奉行の日記～尾張藩士の見た浮世～(中公新書)**

神坂 次郎 著  
中央公論新社

日本経済新聞 2025/05/03

1999:6./ 208p  
978-4-12-100740-7

¥726〔税込〕



9 784121 007407



**国際政治とは何か～地球社会における人間と秩序～(中公新書)**

中西 寛 著  
中央公論新社

日本経済新聞 2025/05/03

2003:3./ 294p  
978-4-12-101686-7

¥946〔税込〕



9 784121 016867



**保守主義とは何か～反フランス革命から現代日本まで～(中公新書 2378)**

宇野 重規 著  
中央公論新社

18世紀から現代日本に至るまでの軌跡を辿り、思想的・歴史的に保守主義を明らかにする。さらには、驕りや迷走が見られる今、再定義を行い、そのあり方を問い直す。

日本経済新聞 2025/05/03

2016:6./ 218p  
978-4-12-102378-0

¥880〔税込〕



9 784121 023780



**デザイン経営～各国に学ぶ企業価値を高める戦略～(中公新書 2847)**

小山 太郎 著  
中央公論新社

イタリア、アメリカ、中国、韓国、北欧、日本の先進的な企業を紹介し、アパレル、インテリア、家電、自動車など多様な事例から、デザイン経営の類型と特長を解説。デザインプロジェクト中心の経営とは何かを描く。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:3./ 264p  
978-4-12-102847-1

¥1,100〔税込〕



9 784121 028471



**散歩哲学～よく歩き、よく考える～(ハヤカワ新書 021)**

島田 雅彦 著  
早川書房

忙しさにかまける現代人に必要なのは、ほっつき歩きながら考える「散歩哲学」だ！散歩を愛する作家・島田雅彦が、新橋の角打ちから屋久島の超自然、ヴェネチアの魚市場まで歩き綴ったエッセイ。

日本経済新聞 2025/05/03

2024:2./ 221p  
978-4-15-340021-4

¥1,078〔税込〕



9 784153 400214

東京の〈地霊(ゲニウス・ロキ)〉

鈴木 博之 著

文芸春秋

日本経済新聞 2025/05/03

1990:5./ 276p



9 784163443409



能動的サイバー防御～日本の国家安全保障戦略の進化～

持永 大 著

日経BP社

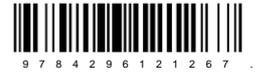
企業や政府へのサイバー攻撃を未然に防ぐ! 国家安全保障戦略が提示した能動的サイバー防御における従来の取り組みをめぐる歴史的展開と将来の課題を、包括的に明らかにする。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:2./ 253p

978-4-296-12126-7

¥3,300 [税込]



9 784296121267



日本一ややこしい京都人と沖縄人の腹の内(光文社新書 1351)

仲村清司 著

光文社

「京都人=イケズ」「沖縄人=排他的」は本当か? 京都に拠点を置きながら沖縄に通う生活を続けている著者はある日、「京都と沖縄は似ている」ことに気づき…。京都と沖縄の知られざる“遠くて近い、深い関係”に着目した本。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:3./ 259p

978-4-334-10586-0

¥1,034 [税込]



9 784334105860

私の猫たち許してほしい(ちくま文庫)

佐野 洋子 著

筑摩書房

日本経済新聞 2025/05/03

1990:8./ 235p

978-4-480-02455-8

¥858 [税込]



9 784480024558



金融詐欺の世界史

ダン・デイヴィス 著

原書房

ポンジスキームやねずみ講などのあらゆる詐欺の手口や、世を騒がせた巨額詐欺事件、投資スキャンダル、架空取引、ホワイトカラー犯罪、金利の不正操作など、金融犯罪事件とその背景を金融のスペシャリストが解説する。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:2./ 377p

978-4-562-07509-6

¥3,960 [税込]



9 784562075096



仮面の奇人三木清

宮永 孝 著

法政大学出版局

戦前期日本哲学界および論壇のスターで、治安維持法下で獄死を強いられた三木清。独仏留学体験からスピノザ論の筆致、マニラでの徴用体験まで、きわめて人間くさい生身の生涯を、戦争の時代背景のうちに跡づける。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:3./ 342p

978-4-588-46026-5

¥3,740 [税込]



9 784588460265



## 戦後日本のアジア外交

宮城 大蔵 著  
ミネルヴァ書房

戦後日本はアジアとどのような関係を築いてきたのか。戦前の歩みから戦争賠償、福田ドクトリン、東アジア共同体構想など、近年に至るまでの日本のアジアに対する関与の軌跡を多面的に明らかにする、本格的通史。

日本経済新聞 2025/05/03

2015:6./ 308p  
978-4-623-07216-3

¥3,300〔税込〕



## 宇宙に願いを(ヤマケイ文庫)

樋口 明雄 著  
山と溪谷社

中学2年生のヒロキは、映画館でUFOを見たという不思議な女性と出会い、恋に落ちた…。表題作はじめ全3編を収録。1970年代の山口県岩国市を舞台に描く、郷愁あふれる青春小説集。「風に吹かれて」姉妹編。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:2./ 254p  
978-4-635-05010-4

¥1,100〔税込〕



## 歩くという哲学～世界を動かした小説、詩、哲学は、歩行によって生まれた～

フレデリック・グロ、谷口 亜沙子 著  
山と溪谷社

世界を動かした小説、詩、哲学は歩行によって生まれた。哲学的な瞑想の連続を探索しながら、ギリシア哲学、ドイツ哲学と詩、フランス文学と詩、英文学、現代アメリカ文学等の、著名な文学者、思想家の歩き方について探求する。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:2./ 303p  
978-4-635-35002-0

¥2,640〔税込〕



## 書くことのメディア史～AIは人間の言語能力に何をもたらすのか～

ナオミ・S・バロン 著  
亜紀書房

古代ギリシアのアルファベットの誕生から、現在のAI技術の最先端まで。言語学のエキスパートが、文字と人類をめぐる壮大な歴史を俯瞰しながら、「書くこと」の現在、そして未来を明らかにする。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:3./ 536p  
978-4-7505-1867-1

¥3,960〔税込〕



## 能力主義をケアでほぐす

竹端 寛 著  
晶文社

長らく成果主義と自己責任論の呪縛に苦しんできた著者が、自らの子育て体験を経てケアに目覚めた。その過程で読んできた本、出会ってきた人々とのエピソードを語る。『スルメブログ』掲載を加筆・改稿・再編集。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:2./ 229p  
978-4-7949-7461-7

¥1,870〔税込〕





### 歩く〜マジで人生が変わる習慣〜

池田光史 著

ユーザベース

ニーチェもベートーヴェンもザッカーバーグも「歩きまくっている」。「歩く」という人間の本質的な行為こそが、脳と身体を鍛え抜き、生産性やクリエイティビティを高め、現代人の抱えるあらゆる問題を解決することを伝える。

日本経済新聞 2025/05/03

2025:2./ 313p  
978-4-910063-41-6

¥1,980〔税込〕



### 競争なきアメリカ〜自由市場を再起動する経済学〜

トマ・フィリポン 著

みすず書房

自由市場の国アメリカでは、一握りの企業への集中が高まったことで、様々な物・サービスの市場で価格が上昇している。なぜ競争の欠如が賃金・投資の減少、生産性・成長の低下、格差の拡大をもたらすのかを示す。

日本経済新聞 2025/05/03、東京・中日新聞 2025/05/11、朝日新聞 2025/05/24

2025:3./ 416p  
978-4-622-09754-9

¥4,950〔税込〕



### 救われてんじゃねえよ〜SACHI There's No Place Like Home〜

上村 裕香 著

新潮社

不幸自慢スカウターで言えば結構戦闘力高めなんだと思う。難病の母を介護しながら高校に通う17歳の沙智に、くだらない奇跡が舞い降りて…。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2025/05/03、読売新聞 2025/05/25

2025:4./ 123p  
978-4-10-356231-3

¥1,540〔税込〕



### ライブミュージックの社会学

南田勝也 著

青弓社

コロナ禍での混乱・停滞を経てもなお、ライブミュージックは音楽文化や流行を力強く牽引し、現代社会のポピュラー音楽シーンでの存在感を増している。ライブミュージックを多角的に考察し、音楽文化の現在地を活写する。

日本経済新聞 2025/05/03、毎日新聞 2025/05/17

2025:3./ 244p  
978-4-7872-3553-4

¥3,300〔税込〕



### こころ 改版(岩波文庫 緑 11-1)

夏目 漱石 著

岩波書店

この小説の主人公である「先生」は、かつて親友を裏切って死に追いやった過去を背負い、まるで生命をひきずるようにして生きている。と、そこへ明治天皇が亡くなり、後をおって乃木大将が殉死するという事件がおこった。

日本経済新聞 2025/05/10

1989:5./ 302p  
978-4-00-310111-7

¥660〔税込〕





**世界の貧困に挑む～マイクロファイナンスの可能性～(岩波新書 新赤版 2055)**

慎 泰俊 著  
岩波書店

貧困から抜け出すためにこそ必要となる、小さな金融サービス=マイクロファイナンス。途上国等において、低所得層の人々を主たる対象としたその実践に取り組む著者が、現状と課題を最前線から伝える。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:3./ 254p  
978-4-00-432055-5

¥1,056〔税込〕



9 78 4 00 4 3 2 0 5 5 5



**<ひとり死>時代の死生観～「一人称の死」とどう向き合うか～(朝日選書 1049)**

小谷みどり 著  
朝日新聞出版

高齢化、葬式・墓の簡素化、家族関係の希薄化とともに変化してきた現代社会の死生観。多くの人が不安視する「ひとり死」について、意識調査結果を分析し浮き彫りにする。死生観を醸成する一助となる一冊。

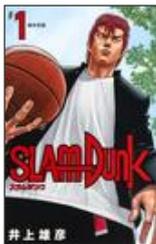
日本経済新聞 2025/05/10

2025:4./ 208p  
978-4-02-263140-4

¥1,760〔税込〕



9 78 4 02 2 6 3 1 4 0 4



**SLAM DUNK<1> 新装再編版 桜木花道(愛蔵版コミックス)**

井上 雄彦 著  
集英社

中学時代、50人の女の子にフラれた桜木花道。そんな男が、進学した湘北高校で赤木晴子に一目惚れ! 「バスケットは...お好きですか?」。この一言が、ワルで名高い花道の高校生活を変えることに!!

日本経済新聞 2025/05/10

2018:6./ 299p  
978-4-08-792531-9

¥660〔税込〕



9 78 4 08 7 9 2 5 3 1 9



**戦争と音楽～京極高鋭、動員と和解の昭和史～(中公選書 156)**

古川 隆久 著  
中央公論新社

華族の家に生まれ、のちの昭和天皇の御相手を務め、音楽ジャーナリストとなり演奏家と親交を深め、戦時下には「愛国行進曲」をプロデュースし、戦後東京オリンピック開催に関わった京極高鋭の人生から近代日本の矛盾を探る。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:3./ 368p  
978-4-12-110158-7

¥2,530〔税込〕



9 78 4 1 2 1 1 0 1 5 8 7



**「失われた30年」に誰がした～日本経済の分岐点～**

リチャード・カツ 著  
早川書房

日本でイノベーションが起きない根本原因は、起業の数が圧倒的に少ないことに求められる。ではなぜ、硬直化した大企業が幅を利かせ続けるのか? 知日派ジャーナリストが、日本経済復活の道を示す。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:3./ 484p  
978-4-15-210416-8

¥3,960〔税込〕



9 78 4 1 5 2 1 0 4 1 6 8



### 論点解説日本の安全保障～防衛基盤の強化と防衛力の持続可能性を考える～

秋山昌廣／小黒一正 編

日経BP社

急速な人口減少が進む中での自衛隊の人員不足、有事の財源調達、核抑止の問題や軍縮、台湾有事、防衛産業の育成…。防衛関係の有識者が一堂に会して17の論点を解説する。「鹿島平和研究所プロジェクト」の成果を書籍化。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:2./ 357p  
978-4-296-11876-2

¥3,520〔税込〕



### 謎の香りはパン屋から

土屋うさぎ 著

宝島社

大学1年生の小春はパン屋でアルバイトしている。あるとき親友の由貴子にドタキャンされてしまう。誘ってきたのは彼女のほうなのにどうして？小春は彼女の行動を振り返り、意外な真相に辿りつく…。<日常の謎>連作短編集。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:1./ 253p  
978-4-299-06264-2

¥1,650〔税込〕



### エスノグラフィ入門(ちくま新書 1817)

石岡 丈昇 著

筑摩書房

人びとが実際に生きる場面を丁寧に記録し、その現実感から飛翔しないで社会や世界の成り立ちを見つめるエスノグラフィ。キーワードに沿って、エスノグラフィのおもしろさを解説する。日本大学文理学部生による卒論も収録。

日本経済新聞 2025/05/10

2024:9./ 304p  
978-4-480-07646-5

¥1,056〔税込〕



### ぼっちのアリは死ぬ～昆虫研究の最前線～(ちくま新書 1851)

古藤 日子 著

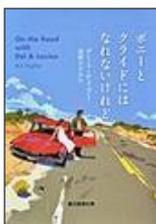
筑摩書房

家族を守る、治療する、感染リスクを見極める…。社会性昆虫であるアリは、ヒトと似て、他者と関わり、社会のなかで生きていく。社会から出て、ぼっちになったアリはどうなるのか。分子生物学でアリ社会の謎を解く。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:4./ 192p  
978-4-480-07680-9

¥924〔税込〕



### ボニーとクライドにはなれないけれど(創元推理文庫 M テ 20-1)

アート・テイラー 著

東京創元社

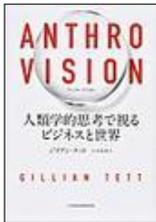
コンビニ店員のルイズは、学費のために店に強盗に入った青年デルと恋に落ちた。ふたりはデルの学位取得をきっかけに、犯罪から足を洗って新しい人生を始めるため旅に出るが、なぜか次々と事件に巻きこまれ…。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:3./ 461p  
978-4-488-22308-3

¥1,496〔税込〕





## ANTHRO VISION～人類学的思考で見るビジネスと世界～

ジリアン・テット 著

日本経済新聞出版社

なぜ経済学やビッグデータ分析は問題解決に失敗するのか。社会科学とデータサイエンスの融合で人類学的知見が果たすべき役割とは。「虫の目」で世界を視て「鳥の目」で集めた情報と組み合わせる「人類学的視野」を紹介する。

日本経済新聞 2025/05/10

2022:1./ 353p  
978-4-532-32448-3

¥2,420〔税込〕



## 応答、しつづけよ。

ティム・インゴルド 著

亜紀書房

現代の人類学を牽引する思想家が、随筆、批評、寓話、詩など、さまざまな形式を駆使して、アート、建築、デザインを論じる。全27篇のエッセイを収録。モノとの「応答」を通じて物事を知ることを探るプロジェクトの成果。

日本経済新聞 2025/05/10

2023:5./ 415p  
978-4-7505-1764-3

¥3,080〔税込〕



## 動物たちの江戸時代

井奥 成彦 編

慶應義塾大学出版会

江戸時代、人と動物たちはどのような関係であったのか。「食べられる動物」から愛玩動物へ変化した犬など、西洋文化が流入する以前の日本人と動物たちとのかかわりを古文書から読み解く。慶應義塾史展示館企画展を基に書籍化。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:4./ 274p  
978-4-7664-3028-8

¥2,640〔税込〕



## ネオリベラリズム概念の系譜 1834-2022

下村 晃平 著

新曜社

「ネオリベラリズム」は、今や経済用語としてだけでなく、政治的・社会的な潮流をも指し示す概念として理解されている。この逆転と拡散はいかにして生じたのか。ネオリベラリズム概念の誕生と展開をたどる。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:2./ 309p  
978-4-7885-1871-1

¥4,620〔税込〕



## 文化人類学の思考法

松村 圭一郎、中川 理、石井 美保 編

世界思想社

文化人類学というユニークな学問が育ててきた思考の道具がたくさん詰まった「道具箱」のような本。文化人類学の古典から最前線の研究までを見通し、答えに辿り着くためのルートの探索法やアプローチの方法等のヒントを伝える。

日本経済新聞 2025/05/10

2019:4./ 224p  
978-4-7907-1733-1

¥1,980〔税込〕





## 人間の安全保障としての文化芸術～人間の家・その創造的アーツマーケティング～

衛 紀生 著  
美学出版

劇場の定義を大きく変えた社会包摂と幸福経営のレジェンドが、不要不急の産業分類「エンターテインメント産業」から離脱し、生命に関わる重要な産業として劇場音楽堂と芸術団体を再定義するための、知と心と思考の軌跡を綴る。

日本経済新聞 2025/05/10

2025:2./ 351p  
978-4-902078-83-1

¥3,300〔税込〕



## 京都の歩き方～歴史小説家 50 の視点～(新潮選書)

澤田 瞳子 著  
新潮社

京都には、平安や幕末のみならず、あらゆる時代の痕跡が息づいている。京都で生まれ育った直木賞作家が、季節の便りや日常のニュースの中から思いも寄らぬ「史話」を掘り起こす。『週刊新潮』連載を改題。

日本経済新聞 2025/05/10、東京・中日新聞 2025/05/25

2025:3./ 221p  
978-4-10-603924-9

¥1,760〔税込〕



## ゴースト・フォレスト

ピク・シュエン・フォン 著  
左右社

中国本土返還に伴い、香港にひとり残ることを決意した父と、3歳半のとき家族とともに異国カナダに渡り、いまではNYに暮らす私。ふたりの間には微妙な距離があった...。いまを生きる中国系移民の姿を淡いタッチで描く。

日本経済新聞 2025/05/10、読売新聞 2025/05/25

2025:3./ 313p  
978-4-86528-461-4

¥3,080〔税込〕



## 生物界は騒がしい～音と共に進化した、生き物とヒトの秘められた営み～

D.G.ハスケル 著  
築地書館

バクテリアの音、音で溢れかえるアマゾン、ヒトの音楽、ザトウクジラの歌...。歴史、生態学、生理学、哲学、生物学をシームレスに融合させながら、鳥や昆虫、風や海、人の声や楽器が作り出す美しい音を紹介する。

日本経済新聞 2025/05/10、毎日新聞 2025/05/10

2025:3./ 431p  
978-4-8067-1680-8

¥3,960〔税込〕



## カニ先生のタコペディアにつぼん

可児 弘明 著  
岩波書店

あのひょっとこ口に向こう鉢巻きはいつから？ タコには霊力がある？ 日本人はいつから食していたのか？ 全国津々浦々集め続けた、タコと日本人をめぐるタコ談義の集成。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:4./ 212p  
978-4-00-061692-8

¥2,200〔税込〕





**日本の「構造改革」～いま、どう変えるべきか～(岩波新書 新赤版 866)**

佐和 隆光 著  
岩波書店

真に自由・透明・公正な経済構造を実現し、景気回復を促進させるための「改革」とは、どのようなものか。

日本経済新聞 2025/05/17

2003:12./ 206p



9 78 4004 308669



**遣唐使(岩波新書 新赤版 1104)**

東野 治之 著  
岩波書店

国家の使節として、留学生・留学僧として海を渡った人々は何を担い、何を求め、何を得たのか。遣隋使と遣唐使を統一的にとらえる視点から、7～9世紀の約300年にわたる日本古代外交の実態と、その歴史的な意義を読み解く。

日本経済新聞 2025/05/17

2007:11./ 220p

978-4-00-431104-1

¥1,122 [税込]



9 78 4004 311041



**大学とは何か(岩波新書 新赤版 1318)**

吉見 俊哉 著  
岩波書店

いま、大学になにが可能なのか。大学を知のメディアとして捉え、中世ヨーロッパにおける誕生、近代国家による再生、明治日本への移植と戦後の再編という歴史のなかで位置づけなおす。大学の理念の再定義を試みる画期的論考。

日本経済新聞 2025/05/17

2011:7./ 270p

978-4-00-431318-2

¥990 [税込]



9 78 4004 313182



**多数決を疑う～社会的選択理論とは何か～(岩波新書 新赤版 1541)**

坂井 豊貴 著  
岩波書店

選挙制度の欠陥と綻びが露呈する現在の日本。多数決は本当に国民の意思を反映しているのか?社会的選択理論の視点から、人びとの意思をよりよく集約できる選び方のルールをさぐる。

日本経済新聞 2025/05/17

2015:4./ 194p

978-4-00-431541-4

¥902 [税込]



9 78 4004 315414



**完璧な家族の作り方(角川ホラー文庫 あ 12-1)**

藍上 央理 著  
KADOKAWA

ある新人賞に応募された小説作品「完璧な家族の作り方」。ホラー小説を手がける某編集部は、著者の目的のため、書籍化を決定した…。わたしもあなたも、完璧な家族、作れます。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:4./ 296p

978-4-04-116199-9

¥880 [税込]



9 78 4041 161999



**黒いイギリス人の歴史～忘れられた 2000 年～(講談社選書メチエ 823)**

平田 雅博 著  
講談社

「黒いイギリス人」は歴史に激しく翻弄されながらも、忘れられた存在だった。長い歴史の中でイギリスに存在した黒人に関連する史料をとりあげて、「白いイギリス人」と女王様の国というイメージとは異なる歴史像を提示する。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:4./ 251p  
978-4-06-539325-3

¥2,090 [税込]



**文品～藤沢周平への旅～**

後藤正治 著  
中央公論新社

歳月が持つ哀しみ、人生への情熱、喪失感-。時代(歴史)小説を舞台に、静謐な文体で人の世の「普遍」を描き続けた作家、藤沢周平。ノンフィクションの名手が、その人と作品の魅力に迫る。『中央公論』連載を書籍化。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:3./ 333p  
978-4-12-005904-9

¥2,640 [税込]



**科学～中国の試験地獄～(中公新書)**

宮崎 市定 著  
中央公論新社

日本経済新聞 2025/05/17

1999:4./ 219p  
978-4-12-100015-6

¥748 [税込]



**日本軍兵士～アジア・太平洋戦争の現実～(中公新書 2465)**

吉田 裕 著  
中央公論新社

高率の餓死、戦場での自殺と「処置」、特攻、物資欠乏...。勇猛と語られる日本兵が、凄惨な体験を強いられた戦争の現実とは。兵士の目線・立ち位置から、特に敗色濃厚になった時期以降のアジア・太平洋戦争の実態を追う。

日本経済新聞 2025/05/17

2017:12./ 248p  
978-4-12-102465-7

¥902 [税込]



**歴史修正主義～ヒトラー賛美、ホロコースト否定論から法規制まで～(中公新書 2664)**

武井 彩佳 著  
中央公論新社

ナチスによるユダヤ人虐殺といった史実を、意図的に書き替える歴史修正主義。ホロコースト否定論が世界各地で噴出し、裁判や法規制も進む。100年以上に及ぶ欧米の歴史修正主義の実態を追い、歴史とは何かを問う。

日本経済新聞 2025/05/17

2021:10./ 264p  
978-4-12-102664-4

¥1,056 [税込]





### 未来をはじめめる～「人と一緒にいること」の政治学～

宇野 重規 著

東京大学出版会

友だち同士から国際社会まで互いに異なる人たちが、共に暮らしていくには。変わりゆく世界の中で、成人の根本を考え抜く。2017年に豊島岡女子学園中学校・高等学校で行われた講義を書籍化。

日本経済新聞 2025/05/17

2018:9./ 256p  
978-4-13-033108-1

¥1,760〔税込〕



### 「声」の言語学入門～私たちはいかに話し、歌うのか～(NHK出版新書 741)

川原 繁人 著

NHK出版

なぜ声や話し方で「印象」が変わるのか。俳優、歌人、ラッパー、アナウンサーなど「声のプロ」たちとの豊富なエピソードを題材に、図版を交えながら「伝える・伝える」の謎をわかりやすく解説する。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:4./ 266p  
978-4-14-088741-7

¥1,133〔税込〕



### アンネの日記 増補新訂版(文春文庫)

アンネ・フランク 著

文芸春秋

自分用と公開用の二種の日記に父親が削っていた部分を再現した「完全版」に新たに発見された五頁を追加。今明かされる親への思い

日本経済新聞 2025/05/17

2003:4./ 597p  
978-4-16-765133-6

¥1,056〔税込〕



### サーキュラーエコノミー(日経文庫 A103)

野田由美子 著

日経BP社

資源を循環させることで廃棄物を無くし、資源の投入を抑える、新たな経済システム「サーキュラーエコノミー」の入門書。実態を熟知した第一人者が、その考え方や世界の潮流から、担い手、日本の課題まですべてを解説する。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:3./ 229p  
978-4-296-12089-5

¥1,100〔税込〕



### わが亡きあとに洪水はきたれ!～ルポルタージュ巨大企業と労働者～(ちくま文庫)

斎藤 茂男 著

筑摩書房

日本経済新聞 2025/05/17

1990:3./ 424p





### 「東大卒」の研究～データからみる学歴エリート～(ちくま新書 1850)

本田 由紀／久保 京子／近藤 千洋／中野 円佳／九鬼 成美 著  
筑摩書房

東京大学に進学するのはどんな人たちなのか。学歴エリートはどこからきてどこへ行くのか。東大卒業生を対象に行われた大規模な独自調査のデータから、学歴エリートの生態と格差社会のリアルを明かす。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:4./ 264p  
978-4-480-07678-6

¥1,012 [税込]



9 78 44 80 07 67 86



### インド外交の新たな戦略～なぜ「バーラト」が重要なのか～

S・ジャイシャンカル 著  
白水社

「先行き不透明」な世界の中で、「目醒めた新大国”インドは何を達成してきたのか。米中対立“後”の世界をどう変えるのか。インド外交の司令塔が自ら語った外交論。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:3./ 350p  
978-4-560-09160-9

¥3,850 [税込]



9 78 45 60 09 16 09



### 追跡 公安捜査

遠藤浩二 著  
毎日新聞出版

捜査員からの「捏造」発言も飛び出した大川原化工機事件。真犯人が名乗り出たにもかかわらず、立件せず公訴時効を迎えた警察庁長官狙撃事件。警察組織の“失敗の本質”に迫る。『毎日新聞』本紙およびウェブ連載に加筆・修正。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:3./ 281p  
978-4-620-32825-6

¥1,870 [税込]



9 78 46 20 32 82 56



### グローバル社会の哲学～現状維持を越える論理～

押村 高 著  
みすず書房

グローバル空間を「社会」と捉えるとき、国家や企業、市民社会に求められるものは何か。国際政治思想における「現状維持バイアス」を乗り越えるためのラディカルな問題提起を行う。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:3./ 272p  
978-4-622-09700-6

¥4,950 [税込]



9 78 46 22 09 70 06



### 中島みゆき詩集(にほんの詩集)

中島 みゆき 著  
角川春樹事務所

時代に向き合い、愛すること、生きること、そして生きていくために必要なものについて問い続けるシンガーソングライター中島みゆき。「糸」「時代」など人生の詩そのものである作品を収めた詩集。桜木紫乃の巻末エッセイ付き。

日本経済新聞 2025/05/17

2022:4./ 157p  
978-4-7584-1399-2

¥1,980 [税込]



9 78 47 58 41 39 92



### なぜ子どもの将来に両親が重要なのか～家族格差の経済学～

メリッサ・S・カーニー 著

慶應義塾大学出版会

40年間で激増した「ひとり親家庭」。米国の80年代以降のデータを分析し、子どもの将来の所得や生活に家族の形が大きく関係していることを提示。経済格差対策、子育て支援策などへのヒントを示す。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:4./ 288p  
978-4-7664-3019-6

¥3,520〔税込〕



### サステナビリティの隘路～「持続可能な消費」の実現はなぜ難しいのか～

藤原 なつみ 著

新泉社

多くの人々が「持続可能な消費」を志向しながら、その実現はなぜ難しいのか。食の消費を対象に、消費行動=実践の変化に着目して検証、消費者個人の意思決定のみに頼ることなく「持続可能な消費」を実現する方法を考える。

日本経済新聞 2025/05/17

2025:2./ 288p  
978-4-7877-2410-6

¥3,300〔税込〕



### 立憲主義について～成立過程と現代～(放送大学叢書 028)

佐藤 幸治 著

左右社

古代ギリシャから続く知性の歴史に日本国憲法の精神を探る、佐藤憲法学の成果。「立憲主義」が人類の長い歴史においてどのような経緯を辿って成立し、現代世界で典型的にどのような姿・内容をもっているかを明らかにする。

日本経済新聞 2025/05/17

2015:4./ 263p  
978-4-86528-113-2

¥1,980〔税込〕



### 織部の妻

諸田 玲子 著

KADOKAWA

古田織部と政略結婚した、戦国武将・中川清秀の妹、仙。変遷する戦国の世を2人で駆け抜けながら、共通する志を抱く夫婦となっていく…。学芸通信社の配信により『岐阜新聞』『京都新聞』に掲載したものに加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:3./ 373p  
978-4-04-112363-8

¥2,310〔税込〕



### 王者の挑戦～「少年ジャンプ+」の10年戦記～

戸部田 誠 著

集英社

多くの読者を獲得し、人気マンガ誌アプリとなった「少年ジャンプ+」。どのようにして生まれ、どのようにして進化し、今後どこを目指していくのか？マンガ誌アプリ「少年ジャンプ+」の秘密に迫るノンフィクション。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:5./ 251p  
978-4-08-788108-0

¥1,980〔税込〕





### 新興国は世界を変えるか～29カ国の経済・民主化・軍事行動～(中公新書 2734)

恒川 恵市 著  
中央公論新社

中国の海洋進出、ロシアのウクライナ侵攻…。力をつけた「新興国」は世界にどのような影響を与え、どこへ向かうのか。アジア、中南米、東欧など29カ国を新興国とし、経済成長、政治体制、軍事行動を分析する。

日本経済新聞 2025/05/24

2023:1./ 264p  
978-4-12-102734-4

¥946〔税込〕



9 784121 027344



### グリーン戦争～気候変動の国際政治～(中公新書 2807)

上野 貴弘 著  
中央公論新社

米国が脱退し、新興国が条件闘争をはじめ、動揺しているパリ協定。米国、欧州、新興国の利害が錯綜する政治力学を、産業、貿易、金融、エネルギーの観点から説明し、気候変動の解決を目指して世界と日本が進むべき道を考える。

日本経済新聞 2025/05/24

2024:6./ 320p  
978-4-12-102807-5

¥1,265〔税込〕



9 784121 028075



### ままならぬ顔・もどかしい身体～痛みと向き合う13話～

山口 真美 著  
東京大学出版会

顔、身体は誰のものか？顔認知研究の第一人者が、自己と他者のはざまでゆれ動く顔と身体を対比させながら、ルッキズム、ジェンダーなどの身近な社会問題から病や死の受け止め方まで、傷つきによりそって考える。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:4./ 176p  
978-4-13-013319-7

¥2,420〔税込〕



9 784130 133197



### 彼女は頭が悪いから(文春文庫 ひ14-4)

姫野 カオルコ 著  
文藝春秋

女子大に進学した美咲と、東京大学理科I類に進学したつばさ。ふたりは恋に落ちたはずだった。渦巻く人々の妬み、劣等感、格差意識。そして起こった集団わいせつ事件。しかし、世間に叩かれたのは被害者の美咲のほうだった…。

日本経済新聞 2025/05/24

2021:4./ 557p  
978-4-16-791670-1

¥979〔税込〕



9 784167 916701



### 自炊者になるための26週

三浦哲哉 著  
朝日出版社

ささっと作って、この上なく幸福。「トーストを焼くだけ」からはじまる、日々の小さな創造行為。「ほぼ毎日キッチンに立つ」映画研究者による、26週の自炊メソッド。感覚を底上げする「名曲」のようなレシピ40以上を収録。

日本経済新聞 2025/05/24

2023:12./ 334p  
978-4-255-01360-2

¥2,178〔税込〕



9 784255 013602



### グローバルサウスの時代～多重化する国際政治～(光文社新書 1340)

脇祐三 著

光文社

米欧にも中口にも全面的にくみすることなく、自国の安全保障と経済的な利益を確保しようとするグローバルサウス。彼らの思考体系と行動原理とは。日本の付き合い方は。グローバルサウスを軸に、世界の変化とその行方を考える。

日本経済新聞 2025/05/24

2024.12./ 316p  
978-4-334-10509-9

¥1,100〔税込〕



### 自炊の壁～料理の「めんどい」を乗り越える 100の方法～

佐々木 典士／山口 祐加 著

ダイヤモンド社

心を折らず自炊を楽しく続けるには一体どうしたらいいのか。料理入門中のミニマリストと、ゆるすぎる自炊料理家が、100のテーマで「自炊を阻む壁」を解き明かす。

日本経済新聞 2025/05/24

2025.3./ 351p  
978-4-478-12049-1

¥1,760〔税込〕



### 自炊大好き(だいわ文庫 411-5D)

東海林 さだお 著

大和書房

好きなものを好きなように作って好きなように食べ、誰にも気兼ねせず、ゆっくり、のんびり。自分ひとりのためだけだから許される、ゆるい自炊と実験的な食べ方…。オリジナルレシピが満載の選りすぐりエッセイ集。

日本経済新聞 2025/05/24

2022.9./ 287p  
978-4-479-32027-2

¥880〔税込〕



### ユーラシアの自画像～「米中対立/新冷戦」論の死角～

川島 真／鈴木 絢女／小泉 悠 編

P H P 研究所

「米中冷戦」「米中競争」論では見落とされがちな、ユーラシアの広大な空間の、相互にかけ離れた固有の歴史と政治を持つ諸国家と諸勢力の主体性について、第一線の研究者たちが明解に論じる。全 17 編の事例研究を収録。

日本経済新聞 2025/05/24

2023.3./ 435p  
978-4-569-85480-9

¥2,090〔税込〕



### 町の本屋はいかにしてつぶれてきたか～知られざる戦後書店抗争史～(平凡社新書 1079)

飯田 一史 著

平凡社

かつて駅前には必ずあった本屋。いつから、どのようにして「町の本屋」はなくなってきたのか？ 配本の偏り、低すぎる利益率、国の競争政策…。出版流通の課題を歴史とデータから読みとぎ、戦後、書店が辿った道を明らかにする。

日本経済新聞 2025/05/24

2025.4./ 351p  
978-4-582-86079-5

¥1,320〔税込〕





### 紅茶とマドレーヌ(ハルキ文庫 の1-1)

野村 美月 著  
角川春樹事務所

会社を経営していた夫が借金を残して失踪し、いきなり没落した41歳の及川姫乃。途方に暮れている場合ではないと、得意の焼き菓子作りを活かし英国式ティールームを開き…。疲れた心を包み込む、優しく温かい物語。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:5./ 273p  
978-4-7584-4721-8  
¥836〔税込〕



### 裸のネアンデルタール人～人間という存在を解き明かす～

リュドヴィック スリマック 著  
柏書房

かつて地球には、今とはまったく異なる人類が生きていた。かれらはなぜ滅んだのか。美意識はあったのか。その精神構造とは。人間という存在を「ありのまま」に理解しようとする情熱的探究の成果。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:4./ 271p  
978-4-7601-5604-7  
¥2,420〔税込〕



### 「グランプリ女優」京マチ子の誕生～フランスの日本映画受容史～

中山 信子 著  
彩流社

映画「羅生門」から「鍵」まで、フランスで京マチ子はどう見られたのか。作品の評価、彼女の演技、演じた女性像について日仏の新聞・雑誌の言説を比較検討し、作品の受容に関する政治的、経済的、社会的側面を考察。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:4./ 291p  
978-4-7791-3036-6  
¥3,300〔税込〕



### グローバル正義の変容～グローバルサウスの台頭と新たなポリティクス～

阿部 利洋 編  
ナカニシヤ出版

新興国・途上国の側からのグローバル正義への働きかけ。それは、反欧米という動機に基づくものなのか。それとも、より普遍的な正義を展望するものなのか。正義が真にグローバルに構築される時代を見通す。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:3./ 234p  
978-4-7795-1863-8  
¥4,620〔税込〕



### 高所綱渡り師たち～残酷のユートピアを生きる～

石井 達朗 著  
青弓社

高層ビル間に張ったロープの上を、長く重いバランス棒だけを抱えて一步一步進む綱渡り師たち。彼ら/彼女らはなぜ挑戦するのか。どのようにして墜落の恐怖を越えられるのか。勇者たちの生きざまを丹念に描くドキュメンタリー。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:4./ 252p  
978-4-7872-7473-1  
¥3,740〔税込〕





### 自分のために料理を作る～自炊からはじまる「ケア」の話～

山口祐加／星野概念 著  
晶文社

誰かのためにだったら作れるけれど、自分のために料理ができない。そんな6人を著者が3カ月間「自炊コーチ」し、精神科医と共に気持ちの変化や発見についてインタビューし、自炊の効用を探る。レシピも収録。

日本経済新聞 2025/05/24

2023:8./ 358p  
978-4-7949-7378-8

¥1,870〔税込〕



### サイバー覇権戦争～ソフトとハード、二つの戦線～

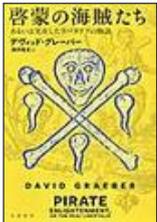
ジェイコブ・ヘルバーク 著  
作品社

新たな戦争=グレー戦争の主戦場であるサイバー空間での戦いを、ソフトウェアとハードウェアの二つの戦線に整理。テクノロジー権威主義国の攻撃の実態を明らかにし、民主主義国はいかに対処すべきかを示す。

日本経済新聞 2025/05/24

2025:3./ 427p  
978-4-86793-062-5

¥3,740〔税込〕



### 啓蒙の海賊たち～あるいは実在したリバタリアの物語～

デヴィッド・グレーバー 著  
岩波書店

啓蒙思想はヨーロッパ貴族のサロンではなく、マダガスカル海賊と先住民女性たちの社会実験から生まれたのではないか。海賊王国の「本当の」歴史をたどり直し、自由、国家、民主主義をめぐる常識を覆す。著者生前最後の書。

日本経済新聞 2025/05/31

2025:4./ 230p  
978-4-00-061685-0

¥2,640〔税込〕



### 荷風たちの東京大空襲～作家が目撃した昭和二十年三月十日～

西川 清史 著  
講談社

昭和20年3月10日、永井荷風は東京大空襲で自宅が焼け落ちていく様を記している。荷風をはじめ、谷崎潤一郎、向田邦子ら、東京に住んでいた文士たちが日記や文章の中に書き残した、東京大空襲の凄まじい体験を紐解く。

日本経済新聞 2025/05/31

2025:3./ 349p  
978-4-06-539104-4

¥2,090〔税込〕



### 国家はなぜ衰退するのか～権力・繁栄・貧困の起源～<上>(ハヤカワ文庫NF 464)

ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A・ロビンソン 著  
早川書房

世界にはなぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか？ 長期的な経済発展の成否を左右する最も重要な要因は、政治経済制度の違いであることを、歴史的な比較分析で論証する。

日本経済新聞 2025/05/31

2016:5./ 414p  
978-4-15-050464-9

¥1,540〔税込〕





**国家はなぜ衰退するのか～権力・繁栄・貧困の起源～<下>(ハヤカワ文庫 NF 465)**

ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A・ロビンソン 著  
早川書房

世界にはなぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか？ 長期的な経済発展の成否を左右する最も重要な要因は、政治経済制度の違いであることを、歴史的な比較分析で論証する。

日本経済新聞 2025/05/31

2016:5./ 410p  
978-4-15-050465-6

¥1,540〔税込〕



9 784150 504656



**ルペンと極右ポピュリズムの時代～<ヤヌス>の二つの顔～**

渡邊 啓貴 著  
白水社

ヨーロッパを揺るがすカリスマ親子、ジャン・マリ・ルペンとマリーヌ・ルペンと極右政党はいかに台頭したのか？ フランス極右の歴史とダイナミズムを、第二次大戦以後の政治・社会史から説き起こす。

日本経済新聞 2025/05/31

2025:4./ 290p  
978-4-560-09157-9

¥2,750〔税込〕



9 784560 091579



**ロストハウス(白泉社文庫)**

大島 弓子 著  
白泉社  
日本経済新聞 2025/05/31

**かたちのつくりかた**

伊藤誠 著  
武蔵野美術大学出版局

「かたち」が人の目に触れるようになるまでには様々な人の手が関わり、変化しながら出来上がってゆく。彫刻家の著者が、かたちをつくるための道具や素材に加えて、「物差し」とする事物を五十音順で紹介。夢日記も掲載。

日本経済新聞 2025/05/31

2001:6./ 300p  
978-4-592-88709-6

¥680〔税込〕



9 784592 887096



**アモローゾ～ジョアン・ジルベルトの人と音楽～**

ズーザ・オーメン・ヂ・メロ 著  
アルテスパブリッシング

ヴィオラオン(ギター)のバチーダ、話すような唱法、独創的なハーモニーでブラジル音楽を変えたジョアン・ジルベルト。ポサノヴァを創り、ポサノヴァを超えた至高の音楽家の愛すべき素顔とともに、その実像を描き出す。

日本経済新聞 2025/05/31

2025:2./ 440p  
978-4-86559-303-7

¥3,740〔税込〕



9 784865 593037



**PLURALITY～対立を創造に変える、協働テクノロジーと民主主義の未来～  
(サイボウズ式ブックス)**

オードリー・タン／E・グレン・ワイル 著  
ライツ社

社会的差異を越えたコラボレーションのための新たな社会のビジョン、  
PLURALITY。台湾をはじめとする豊富なデジタル民主主義の実践事例を通じ、権  
利、通貨、政策など、起こり得る未来を解説する。

日本経済新聞 2025/05/31

2025:5./ 619p  
978-4-909044-57-0

¥3,300〔税込〕



**働いて愛して生きるために女たちは闘わなければならない～ラジウム・ガ  
ー  
ルズのアメリカ～**

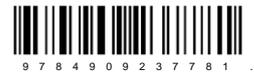
ケイト・ムーア 著  
堀之内出版

20世紀初頭の米国、夢の物質といわれたラジウムの塗装は憧れの仕事だった。しか  
し、やがて工場で働く少女たちに恐ろしい奇病が広がり始め…。企業が事態の隠蔽に  
走るなか、自分たちの尊厳を守るために戦った女性たちの物語。

日本経済新聞 2025/05/31

2025:4./ 570p  
978-4-909237-78-1

¥3,960〔税込〕



**疫病と人文学～あらがい、書きとめ、待ちうける～**

藤原 辰史、香西 豊子 著  
岩波書店

パンデミックに対して、人文学は無力だったのだろうか。そうではない。13人の執  
筆者が、コロナ禍によってもたらされた傷を書きとめる。いつかまた来るであろうパ  
ンデミックを見据えた、人文学的常備薬。

毎日新聞 2025/05/03

2025:2./ 358p  
978-4-00-022318-8

¥3,630〔税込〕



**憲法事件を歩く～尊厳をかけて闘った人々と司法～**

渡辺 秀樹 著  
岩波書店

憲法の理念と現実との溝を埋めようとする営みが憲法訴訟である。4年をかけて全国  
を歩き、憲法事件の関係者を取材したルポルタージュ。尊厳をかけて闘った人々の軌  
跡。『信濃毎日新聞』連載を書籍化。

毎日新聞 2025/05/03

2025:4./ 256p  
978-4-00-061693-5

¥2,750〔税込〕



**ケロリン百年物語**

文藝春秋

2025年に百周年を迎えた解熱鎮痛薬「ケロリン」を、音楽・映画・銭湯など、文化  
史の視点から分析。萩本欽一、壇蜜のインタビュー、堺正章x笹山敬輔の対談も収録  
する。

毎日新聞 2025/05/03

2025:3./ 118p  
978-4-16-391962-1

¥1,430〔税込〕





### 東大生に教える日本史(文春新書 1483)

本郷 和人 著  
文藝春秋

時代を動かす原動力は何か、誰が時代を変えていくのか。東京大学教養学部の連続講義を元に、武家政権成立をはじめ歴史上の大きな転換点を題材に、日本史に流れる「ルール」をわかりやすく解き明かす。

2025:2./ 249p  
978-4-16-661483-7  
¥990〔税込〕



毎日新聞 2025/05/03



### 向谷地さん、幻覚妄想ってどうやって聞いたらいいんですか?(シリーズケアをひらく)

向谷地 生良 著  
医学書院

精神医療の常識を溶かし、対人支援の枠組みを更新し続ける「べてるの家」創設者・向谷地生良のインタビューと、彼に言語論から迫る社会学者・大澤真幸の特別寄稿を収録。テキストデータ引換券付き。

2025:2./ 281p  
978-4-260-06153-7  
¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2025/05/03



### 江戸時代のオタクファイル

辛酸なめ子 著  
淡交社

象が大好きで遠い異国から呼び寄せてしまった將軍、珍しい石や貝を蒐集した人、VR ゴーグルのようなのぞき眼鏡にハマった人、歌舞伎役者を推していたお姫様…。江戸時代に充実したオタクライフを送っていた 25 人を紹介する。

2025:2./ 203p  
978-4-473-04652-9  
¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2025/05/03



### 日本経済の死角～収奪的システムを解き明かす～(ちくま新書 1840)

河野 龍太郎 著  
筑摩書房

「失われた 30 年」で日本の生産性は上がっているのに、実質賃金が上がらないのはなぜか。日本経済の長期停滞をよみとく際の死角や誤算を白日のもとに晒し、社会が陥りかけている「収奪的システム」から抜け出す方途を示す。

2025:2./ 288p  
978-4-480-07671-7  
¥1,034〔税込〕



毎日新聞 2025/05/03



### 読めば分かるは当たり前?～読解力の認知心理学～(ちくまプリマー新書 480)

犬塚 美輪 著  
筑摩書房

読める人の頭の中には読解力の地図がある-。人間が「読んで理解する」とはどういうことかを、心理学の研究成果を通して解説し、どうすればよりよく読むことができるのかを考える。

2025:1./ 250p  
978-4-480-68513-1  
¥990〔税込〕



毎日新聞 2025/05/03



### 山東京伝研究～考証・意匠・戯作～

有澤 知世 著  
ペリかん社

江戸深川に生まれ、浮世絵師、劇作者、考証家、京伝店の主として活躍した山東京伝。雅俗を往還しながら、いにしえ・当主・未来を見つめた山東京伝こと岩瀬醒の営みを読み解く。

毎日新聞 2025/05/03

2025:2./ 329p  
978-4-8315-1687-9

¥6,380〔税込〕



### かずをはぐくむ

森田真生 著  
福音館書店

やがて、子どもの心の中には数が「生まれ」、おとなと共に“育み”あうようになる。3歳と0歳のきょうだいが、8歳と5歳になるまでの驚きに満ちた日々を、やわらかに綴る。『母の友』連載を書籍化。

毎日新聞 2025/05/03

2025:4./ 213p  
978-4-8340-8845-8

¥1,980〔税込〕



### 大いなるナショナリスト 福澤諭吉

渡辺 利夫 著  
藤原書店

「立国の公道」はナショナリズムである。福澤自身が書き残した文献に当たり、「欧化主義者」「文明開化論者」「啓蒙思想家」に偏った福澤諭吉像を刷新し、現代日本に求められるその思想の核心に迫る。

毎日新聞 2025/05/03

2025:1./ 257p  
978-4-86578-449-7

¥2,640〔税込〕



### 古代ギリシアのいとなみ～都市国家の経済と暮らし～(刀水歴史全書 104)

レオポル ミジヨット 著  
刀水書房

古代ギリシア都市国家「ポリス」の経済と暮らしを鮮やかに解き明かした入門書。モノやサービスの生産・交換・消費に関わる古代世界の人びとのいとなみを解説する。日本語版読者のための読書案内、地図も掲載。

毎日新聞 2025/05/03

2025:1./ 8p,273p  
978-4-88708-477-3

¥3,520〔税込〕



### 三丁目が戦争です 新・新装版

筒井康隆 著  
スローガン

住宅地の月ちゃんは、誰もが恐れる凶暴な女の子。団地のシンスケはひとり立ち向かうが、逆にボコボコにされてしまう。2人のケンカはお母さんを巻き込み、お父さんを巻き込み、友達を巻き込み、ついに住宅地と団地は大戦争に!

毎日新聞 2025/05/03

2024:7./ 102p  
978-4-909856-13-5

¥2,970〔税込〕





### あしか

瀬尾まいこ 著  
水鈴社

母親との関係に悩みながら、一人娘のひかりを慈しむシングルマザーの美空。義弟で同性のことが好きな颯斗は、兄と美空が離婚した後も何かとふたりの世話を焼こうとするが...

毎日新聞 2025/05/03、朝日新聞 2025/05/31

2025:4./ 366p  
978-4-910576-03-9

¥1,980〔税込〕



### 世界 99<下>

村田 沙耶香 著  
集英社

14年前、「リセット」を経験した人類。49歳になった空子は生まれ育った「クリーン・タウン」の実家に戻る。やっと訪れた穏やかな社会の中心には、さらに変貌したピョコルンがいて...。『すばる』連載に加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2025/05/03、毎日新聞 2025/05/31

2025:3./ 428p  
978-4-08-770001-5

¥2,420〔税込〕



### 世界 99<上>

村田 沙耶香 著  
集英社

性格のない人間・空子は、コミュニティごとにふさわしい人格を作り、キャラクターを使い分けて生き延びてきた。だが、ペットのかわいい生き物・ピョコルンが、とある能力を備えると...。『すばる』連載に加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2025/05/03、毎日新聞 2025/05/31

2025:3./ 429p  
978-4-08-771879-9

¥2,420〔税込〕



### 嘘と隣人

芦沢 央 著  
文藝春秋

リタイアした元刑事の平穏な日常に降りかかる事件の数々。身近な人間の悪意が白日の下に晒された時、捜査権限を失った男・平良正太郎は、事件の向こうに何を見るのか? 連作ミステリ。『オール讀物』掲載を単行本化。

毎日新聞 2025/05/05

2025:4./ 246p  
978-4-16-391971-3

¥1,760〔税込〕



### 藤子・F・不二雄のまんが技法(小学館文庫)

藤子・F・不二雄 著  
小学館

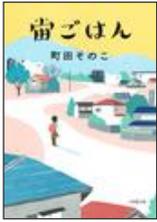
超人気まんが創作の秘密を大公開!マンガを描くコツ。マンガを描くときに何が必要か?そして、何が大切か?

毎日新聞 2025/05/10

2000:3./ 290p  
978-4-09-404331-0

¥770〔税込〕





### 宙ごはん(小学館文庫 ま 27-1)

町田 そのこ 著

小学館

育ての母と産みの母。ふたりの母親に育てられた宙は、産みの母親と暮らすことになるが…。ごはんを作って食べることを通して成長していく姿を描く。書き下ろしを含む2本の掌編を加え文庫化。

毎日新聞 2025/05/10

2025:3./ 460p  
978-4-09-407443-7

¥946〔税込〕



### 昭和天皇の敗北～日本国憲法第一条をめぐる闘い～(中公選書 155)

小宮京 著

中央公論新社

昭和天皇が「象徴」を受け入れたという「聖断」は存在するのか。憲法改正の過程をつぶさに検証し、昭和天皇の真意を明らかにするとともに、日本政府、GHQ、学者らの激しい攻防を描き、戦後がいかに始まったかを問い直す。

毎日新聞 2025/05/10

2025:1./ 296p  
978-4-12-110154-9

¥2,200〔税込〕



### 土浦亀城邸～1935 2024～

北田明裕／竹葉徹／『土浦亀城邸』編集委員会 編

安田幸一／長沼徹 著

鹿島出版会

昭和モダニズム住宅の先駆といえる土浦亀城邸が、約90年を経た2024年5月、東京・青山の「ポーラ青山ビルディング」敷地内に竣工時とほぼ同様に復原・移築された。豊富な資料を元にプロジェクトの全容を紹介する。

毎日新聞 2025/05/10

2025:4./ 192p  
978-4-306-08573-2

¥3,300〔税込〕



### ひのえうま～江戸から令和の迷信と日本社会～(光文社新書 1348)

吉川徹 著

光文社

高度経済成長只中の1966年、日本の出生数が統計史上最低を記録した。その原因となったのが60年に一度の干支、丙午(ひのえうま)にまつわる迷信だった。迷信が成立した江戸期にまでさかのぼり、社会現象として読み解く。

毎日新聞 2025/05/10

2025:2./ 245p  
978-4-334-10553-2

¥990〔税込〕



### WOW～AI アートが語る世界を変えた55のできごと～

AI カランバ! スタジオ 著

あすなろ書房

紀元前3000年前にパンを焼いた人、ニュートンとリンゴの木…。歴史を変えた画期的なできごとや決定的瞬間をAIはどこまで活写できるのか。600時間以上にわたって人間がAIと対話して描かせた55枚のAI絵画を収録。

毎日新聞 2025/05/10

2025:4./ 64p  
978-4-7515-3251-5

¥2,750〔税込〕





### ロジリア～世界の半屋外空間 暇も集いも愉しむ場～

金野 千恵 著  
学芸出版社

「暇」も「集い」も愉しむ半屋外空間「ロジリア」では、人々はどのように地域の文化や気候と関わり、暮らしを構築し、維持してきたのか。建築的特徴や人間のふるまいを通して、その性質を解明する。本体は背表紙なし糸綴じ。

毎日新聞 2025/05/10

2025:3./ 255p  
978-4-7615-3307-6

¥3,300〔税込〕



### 淀川長治～「映画の伝道師」と日本のモダン～

北村 洋 著  
名古屋大学出版会

「日曜洋画劇場」の解説で人気を博した「サヨナラおじさん」こと淀川長治。映画会社の宣伝員、雑誌編集者、批評家など、いくつもの顔をもつこの人物は何者だったのか。変革者=映画人の思想・仕事・人生を描く。

毎日新聞 2025/05/10

2024:12./ 304p  
978-4-8158-1178-5

¥4,950〔税込〕



### Art on Toast～静かな生きもの～

SASAMANA 著  
コンセント

トースターのなかで、「静かな生きもの」は隠していた姿をあらわす。パンをキャンバスに見立て、食材の美しさを表現する「Art on Toast」の写真集。トースト前のパンと、トースト後のパンを見開きで掲載する。

毎日新聞 2025/05/10

2025:4./ 151p 図版 34p  
978-4-909290-04-5

¥5,500〔税込〕



### 曇りなく常に良く

井戸川射子 著  
中央公論新社

同じ高校に通う仲よし5人組。同じ時を過ごしていても、想いが同じとは限らない。少女たちの1年間を丁寧に描き出す、澄み渡る青春群像劇。『婦人公論・jp』連載を書籍化。

毎日新聞 2025/05/10、朝日新聞 2025/05/17

2025:3./ 155p  
978-4-12-005899-8

¥1,980〔税込〕



### 近代日本メディア議員列伝<12> 米原昶の革命

松永 智子 著  
創元社

明治から戦後にかけて<政治のメディア化>を体現したメディア議員を深掘りする。12は、鳥取の資本家から共産党代議士となり、『赤旗』編集局長として活躍、文筆家・米原万里の父としても知られる米原昶の実像に迫る。

毎日新聞 2025/05/10、読売新聞 2025/05/11

2025:2./ 358p  
978-4-422-30112-9

¥2,970〔税込〕





### ウィーブが日本を救う～日本大好きエコノミストの経済論～

ノア・スミス 著

日経BP社

日本のアニメ・漫画オタクの意味から転じて日本文化愛好者を示すようになったウィーブ。エコノミストでウィーブの1人である著者が、世界に広がるウィーブたちを活用した日本経済復活のシナリオを描く。

2025:3./ 306p  
978-4-296-00209-2

¥2,860〔税込〕



毎日新聞 2025/05/10、日本経済新聞 2025/05/24



### 空色心経

こうの史代 著

朝日新聞出版

遙か昔のインドで、観自在菩薩がお釈迦様の弟子・舍利子と対話している。一方、未知のウイルスがまん延する現代、あいはある悩みを心に秘めていて…。2つの世界を2色で描き繋ぐ構成のコミック。ブログ掲載を書籍化。

2025:4./ 129p  
978-4-02-252047-0

¥924〔税込〕



毎日新聞 2025/05/17



### 桃中図～自選短篇集～

宮城谷 昌光 著

文藝春秋

生きること、生かされること。そのせつなさ、不思議さが、よみがえる…。宮城谷昌光が傘寿を迎えて、自ら選んだ中国歴史小説集。単行本・文庫未収録作「宋門の雨」を含む全8作を収録。

2025:2./ 439p  
978-4-16-391945-4

¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2025/05/17



### だから毎日、幼稚園に通えた～自閉症の僕の子ども時代～(PriPri パレットブックス)

東田直樹 著

世界文化社

幼稚園に入園して、自分がほかの人と違うと気づいた。寄り添ってくれた先生に、何度も救われた。自閉症の自分が見ていた世界と、支えてくれた先生たちに向けた感謝を綴ったエッセイ。『PriPri パレット』連載を書籍化。

2025:3./ 128p  
978-4-418-25705-8

¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2025/05/17



### タコ・イカが見ている世界(創元ビジュアル教養+α)

吉田 真明／滋野 修一 著

創元社

タコ・イカなどの頭足類は、人類とはまったく異なる身体・脳の構造を持っているが、高度な知性の持ち主であることが分かってきた。その進化史から特異な身体の構造、そして心の中や社会性まで、豊富な図版と共に紹介する。

2025:4./ 151p  
978-4-422-43063-8

¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2025/05/17



### 強いビジネスパーソンを目指して鬱になった僕の弱さ考

井上慎平 著  
ダイヤモンド社

強いビジネスパーソンを目指して鬱になった著者が考えた、資本主義社会の「しんどさ」から自分を守る思考法。どん底から這い上がる過程でどんなことを考えたのか、どんな景色を見たのか、今どんな景色が見えているのかを綴る。

毎日新聞 2025/05/17

2025:3./ 303p  
978-4-478-12037-8

¥1,980〔税込〕



### ヘタレ人類学者、沙漠をゆく〜僕はゆらいで、少しだけ自由になった。〜

小西 公大 著  
大和書房

“ゆらぎの世界”は生き方や人間関係、社会のあり方に豊かな意味をもたらす。ヘタレとゆらぎをキーワードに、人類学者である「僕」が、インドのタール沙漠で貴重な経験を繰り返しながら変容していく様を赤裸々に綴った物語り。

毎日新聞 2025/05/17

2024:12./ 332p  
978-4-479-39441-9

¥2,200〔税込〕



### はなと毎日パンダの中国パンダ旅<雅安・西安篇>

はな 著  
白水社

パンダファンを代表する2人が、四川省・雅安でシャンシャン、リーリー、シンシンと感動の再会! 飼育下で唯一の茶色いパンダ・チーザイに会いに西安へ! パンダマニアの旅の貴重な記録。写真も満載。

毎日新聞 2025/05/17

2025:5./ 150p  
978-4-560-09167-8

¥2,200〔税込〕



### ウンコノミクス(インターナショナル新書 156)

山口 亮子 著  
集英社インターナショナル

ビル空調の熱源や自動車の燃料など、活用分野の幅が広いウンコ。ウンコとゴミでできた大阪万博会場や、羽田空港と隣り合う日本最大の下水処理場のレポートを交え、日本経済を立て直す「ウンコノミクス」の可能性を探る。

毎日新聞 2025/05/17

2025:4./ 269p  
978-4-7976-8156-7

¥1,045〔税込〕



### てぶくろ〜ウクライナ民話〜(世界傑作絵本シリーズ)

福音館書店

雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこみました。そこへ、カエルやウサギやキツネが次々やってきて、とうとう手袋ははじけそう……。個性ある動物の表情が特にすばらしい傑作です。

毎日新聞 2025/05/17

1965:11./ 15p  
978-4-8340-0050-4

¥1,100〔税込〕





### 水脈を聴く男

ザフラーン・アルカーシミー 著

書肆侃侃房

井戸で発見された溺死体のお腹から取り出された胎児。胎児には大地の「水脈を聴く」能力が宿っていた。やがて水源を探し当てる「水追い師」として各地で引く手あまたになるが…。水をめぐる傑作長編。

毎日新聞 2025/05/17

2025:5./ 213p  
978-4-86385-674-5

¥2,200〔税込〕



### 声影記

小原奈実 著

港の人

カーテンに鳥の影はやし速かりしのちつくづくと白きカーテン 水たぎち水の匂ひを たててをり匂ひとは在るものの断片 2008年から2021年までの作品304首を収めた歌集。

毎日新聞 2025/05/17

2025:2./ 190p  
978-4-89629-451-4

¥2,420〔税込〕



### 熟柿

佐藤 正午 著

KADOKAWA

轢き逃げの罪に問われ、裁判中に息子、拓を出産したかおり。出所後、息子の顔見たさに園児連れ去り事件を起こした彼女は、息子との接見を禁じられ、西へ西へと各地を流れていくが…。『小説野性時代』掲載を単行本化。

毎日新聞 2025/05/17、朝日新聞 2025/05/24

2025:3./ 365p  
978-4-04-114659-0

¥2,035〔税込〕



### 「東洋」の変貌～近代日本の美術史像とペルシア～

ザヘラ・モハッラミプール 著

名古屋大学出版会

東洋芸術とは何か？ ペルシア芸術を焦点として、伊東忠太・黒板勝美ら学术界、美術商や展覧会、メディア・思想などのグローバルな動向を結びつけ、今日の美術史が確立されていく過程を丹念に掘り起こす。

毎日新聞 2025/05/17、朝日新聞 2025/05/24

2025:3./ 430p  
978-4-8158-1182-2

¥7,480〔税込〕



### 紗央里ちゃんの家(角川ホラー文庫)

矢部 嵩 著

角川書店

祖母が風邪で死んだと知らされた小学5年生の僕。叔母夫婦の家からは従姉の紗央里ちゃんの姿も消え、叔母たちの様子はどこかおかしい。僕はこっそり家中を探し始める。第13回日本ホラー小説大賞長編賞受賞。

毎日新聞 2025/05/24

2008:9./ 160p  
978-4-04-390101-2

¥616〔税込〕





**ほんとうの会議～ネガティブ・ケイパビリティ実践法～(講談社現代新書 2768)**

帚木 蓬生 著  
講談社

言いつ放し、聞き放しの会議が、なぜこれほど人生を豊かにするのか。自助グループのミーティングや精神科の治療法「オープン・ダイアログ」をもとに、「不毛な会議」観を根底から変える新しいミーティングの形を紹介する。

毎日新聞 2025/05/24

2025:3./ 246p  
978-4-06-539011-5

¥1,078〔税込〕



9 784065 390115



**翻訳する私(CREST BOOKS)**

ジュンパ・ラヒリ 著  
新潮社

私は、異なる言語の狭間に生きて、読んで、考えて、書いてきた。ベンガル人の両親のもとロンドンで生まれ、アメリカで育った小説家が、「翻訳」について考えたことを、半生をひもときながら綴る。

毎日新聞 2025/05/24

2025:4./ 189p  
978-4-10-590199-8

¥2,145〔税込〕



9 784105 901998



**小説を書くということ(中公文庫 つ3-31)**

辻邦生 著  
中央公論新社

小説とは、言葉でつくる箱のなかに世界を入れること。作家志願者に向けた講座「言葉の箱」、フィクション論から自作歴史小説での史料活用法まで、貧血化し機能化する散文に対する、豊饒な文学世界の実現へと誘う創作講義。

毎日新聞 2025/05/24

2025:3./ 296p  
978-4-12-207632-7

¥1,100〔税込〕



9 784122 076327



**アウシュヴィッツ脱出～命を賭けて世界に真実を伝えた男～**

ジョナサン・フリードランド 著  
NHK出版

19歳の少年は危険を冒して強制収容所から脱出し「死の工場」の実態を暴いた。それは世界中に配信されてユダヤ人解放へとつながり、多くの命を救い…。歴史を動かし、自身も歴史に翻弄された男の功績と生涯を明らかにする。

毎日新聞 2025/05/24

2025:4./ 429p  
978-4-14-081988-3

¥2,970〔税込〕



9 784140 819883



**「憲政常道」の近代日本～戦前の民主化を問う～(NHK ブックス 1292)**

村井 良太 著  
NHK出版

政党支持率が落ちても政党の存在を前提とした政治システム自体はびくともしないのはなぜか？ その理由をデモクラシー成立の経緯に焦点を当てて説き、「戦前日本=軍国主義」というイメージを吹き飛ばす。

毎日新聞 2025/05/24

2025:1./ 430p  
978-4-14-091292-8

¥2,310〔税込〕



9 784140 912928



### 東京大空襲を指揮した男カーティス・ルメイ(ハヤカワ新書 039)

上岡 伸雄 著

早川書房

第二次大戦中、日本への無差別爆撃を指揮するも、戦後、航空自衛隊の育成に貢献。ベトナム戦争時に「石器時代に戻せ」と北爆を進め…。米文学研究の泰斗がルメイに関する英語文献を丹念に調査し、その実像を客観的に明かす。

毎日新聞 2025/05/24

2025:2./ 284p  
978-4-15-340039-9

¥1,364 [税込]



### 徳川将軍の側近たち(文春新書 1495)

福留 真紀 著

文藝春秋

「将軍側近」はいかに登用され、どのようにしてその力を失っていったのか。代々の将軍の治世を追いながら、幕府官僚としての老中と、将軍個人に仕える側近の関係を通して、徳川政治を読み解く。

毎日新聞 2025/05/24

2025:5./ 255p  
978-4-16-661495-0

¥1,067 [税込]



### パリの最後の夜(シュルレアリスム叢書)

フィリップ・スーポー 著

国書刊行会

1920年代の夜のパリ。謎の女ジョルジュットにいざなわれた語り手はセーヌ河岸で犯罪を目撃する…。パリとパリの女の驚異を描いたシュルレアリスム小説。初訳短篇「オラス・ピルエルの旅」「ニック・カーターの死」を併録。

毎日新聞 2025/05/24

2025:3./ 394p  
978-4-336-07703-5

¥4,180 [税込]



### 未来に残したいウクライナの木造教会

ガリーナ・シェフツォバ 著

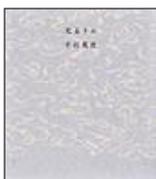
エクスナレッジ

大地に溶け込む聖なる教会。キリスト教以前の古代からの文化や伝統が複雑に絡み合い、独特の魅力を持つ「ウクライナの木造教会」を写真で紹介する。世界遺産「カバルティア地方の木造教会群」を含む、129件の教会を掲載。

毎日新聞 2025/05/24

2025:4./ 143p  
978-4-7678-3403-0

¥2,200 [税込]



### 光るリム

千石 英世 著

七月堂

無風の日 この地では 駅につどう人たちは 空を見上げて 瞑目する 駅で生きいそいでいったやさしい人たちの やさしいにおいが 低い空に 降りてきて やさしくにおうというのだ(「ガザ承前」より) 第3詩集。

毎日新聞 2025/05/24

2025:5./ 117p  
978-4-87944-609-1

¥1,980 [税込]





### 社会学<上> 第9版

アンソニー・ギデンズ／フィリップ・サットン 著  
而立書房

古典的議論から現代の世界情勢まで、私たちが生きる世界を理解するためにA・ギデンズが書き下ろした社会学の概説書。社会学全体の刺激的な研究を紹介する。インターネット・リンクも掲載。上は、第1章～第12章を収録。

毎日新聞 2025/05/24

2025:4./ 632p  
978-4-88059-446-0

¥3,520〔税込〕



### 社会学<下> 第9版

アンソニー・ギデンズ、フィリップ・サットン 著  
而立書房

古典的議論から現代の世界情勢まで、私たちが生きる世界を理解するためにA・ギデンズが書き下ろした社会学の概説書。社会学全体の刺激的な研究を紹介する。インターネット・リンクも掲載。下は、第13章～第22章を収録。

毎日新聞 2025/05/24

2025:4./ 656p  
978-4-88059-447-7

¥3,520〔税込〕



### リンカン～「合衆国市民」の創造者～(岩波新書 新赤版 2054)

紀平 英作 著  
岩波書店

何百万もの黒人奴隷を国内に抱えるなかで迎えた南北戦争という分断の危機において、リンカンはいかにして「人民の共和国」という統合の理念を構想しえたのか。政治的リーダーシップの源泉を問う評伝。

毎日新聞 2025/05/31

2025:2./ 244p  
978-4-00-432054-8

¥1,100〔税込〕



### 数字じゃ、野球はわからない(朝日新書 983)

工藤公康 著  
朝日新聞出版

昭和から令和、野球はどこまで進化したのか? 「優勝請負人」工藤公康が、データと最新理論にとらわれた野球界を総点検! さらに自身の経験をもとに、いつまでも色あせない“野球の魔力”も紹介する。

毎日新聞 2025/05/31

2025:1./ 220p  
978-4-02-295298-1

¥957〔税込〕



### バブルリゾートの現在地～区分所有という迷宮～(角川新書 K-478)

吉川 祐介 著  
KADOKAWA

狂乱のバブル期、新潟県湯沢町に大量のマンションや、権利が細かく分割された会員制ホテルが建設された。それは大幅に価格が下落し、法律の濫用により身動きが取れなくなり…。リゾート物件の現状を伝える。

毎日新聞 2025/05/31

2025:3./ 300p  
978-4-04-082499-4

¥1,100〔税込〕





### となりのヨンヒさん

チョン ソヨン、吉川 凧 著  
集英社

もしも隣人が宇宙人だったら？ もしも並行世界を行き来できたら？ もしも私の好きなあの子が未知のウイルスに侵されてしまったら...？ マイノリティからの眼差しを受け止めつつ人々の挫けぬ心を繊細に描く、韓国 SF 小説集。

毎日新聞 2025/05/31

2019:12./ 253p  
978-4-08-773503-1

¥1,980〔税込〕



9 78 4087 735031



### 血を分けた子ども

オクテイヴィア・E・バトラー 著  
河出書房新社

強大な力と高い知性を持つ節足生物「トリク」が支配する地で、トリクの保護を受けて暮らす人間たち。人間はトリクの卵を男性の体内に宿し育て上げるという役割を担い...。表題作などを収録した伝説的 SF 作家の名短篇集を邦訳。

毎日新聞 2025/05/31

2022:6./ 251p  
978-4-309-20855-8

¥2,585〔税込〕



9 78 4309 208558



### 巣鴨のお寿司屋で、帰れと言われたことがある

古賀 及子 著  
幻冬舎

池袋、飯能、日本橋、所沢、諏訪、田園調布、高知、恐山、湯河原...。自分の中の記憶を、街単位で遡る。そこから掘り起こされる、懐かしいだけでは片付かない、景色と感情。ノスタルジーと可笑しみのエッセイ。

毎日新聞 2025/05/31

2025:4./ 217p  
978-4-344-04422-7

¥1,760〔税込〕



9 78 4344 044227



### ベオグラード日誌 増補版(ちくま文庫 や60-2)

山崎 佳代子 著  
筑摩書房

こわされたもの、深い闇に沈むもの、幽かな光となって現れ生まれてくるもの...。ベオグラード在住の詩人が、2001年から12年間の暮らしを点描する。2019年1月～2025年2月の日誌を増補。

毎日新聞 2025/05/31

2025:4./ 283p  
978-4-480-44019-8

¥1,056〔税込〕



9 78 4480 440198



### クレーとマルク～動物たちの場所～

高橋文子／新藤真知 編  
パウル・クレー／フランツ・マルク 著  
みすず書房

多数の手紙や葉書を交わして絵画論や近況を伝えあったパウル・クレーとフランツ・マルク。2人が残した絵葉書、動物を画題とする作品を一冊に編み、ドイツ絵画史に残るひそやかな交感に光をあてる。

毎日新聞 2025/05/31

2025:4./ 96p  
978-4-622-09771-6

¥2,970〔税込〕



9 78 4622 097716



### 鈴木いづみプレミアム・コレクション

鈴木 いづみ 著

文遊社

没後 20 年を経て送り出す、史上最速の小説家・鈴木いづみの待望の傑作集。コレクション未収録の SF 小説「あまいお話」を含めた小説 7 編と、エッセイ 4 編を収録。高橋源一郎のエッセイ「70 年代に現代を先取り!」も掲載。

2006:3./ 409p  
978-4-89257-048-3

¥1,870 [税込]



毎日新聞 2025/05/31



### ムクの祈り〜タブレット純自伝〜

タブレット 純 著

リトル・モア

幼少の頃、我が家の飼い犬だったムク。人生をもがき、さまようほどに、ムクの瞳は夜露となって、心を濡らすようになっていた…。異能かつ異端の存在「タブレット純」が初めて綴る、泣き笑い青春記。

2024:12./ 197p  
978-4-89815-600-1

¥1,980 [税込]



毎日新聞 2025/05/31



### おかわりは急に嫌〜私と『富士日記』〜

古賀 及子 著

素粒社

日常というのは人にかまってくれないのだ…。日記エッセイの書き手が、武田百合子の「富士日記」を読み、そこから枝分れするように生活と記憶の細部を綴る。素粒社 note 連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2025:4./ 237p  
978-4-910413-17-4

¥1,870 [税込]



毎日新聞 2025/05/31